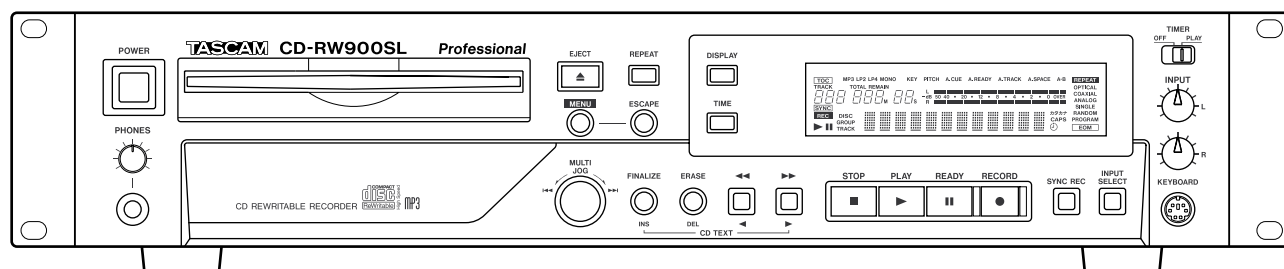
D00964601A

TASCAM
TEAC Professional Division

CD-RW900SL

CD Rewritable Recorder

Professional

取扱説明書

安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。

万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。

この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

この機器を設置する場合は、壁から20 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から2 cm以上、背面から10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠注意

オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。

電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用についてはご相談ください。

次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
・湿気やほこりの多い場所
・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所

電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

この機器には、付属の電源コードセットをご使用下さい。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

付属の電源コードセットを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

第1章 はじめに

このたびは、CD-RW900SLをお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、本製品の性能を十分に発揮させ、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

ご注意

音楽、映像、コンピュータプログラム、データベース等の著作物は、著作権法その他の法規、または、お客様との間で締結される使用許諾契約に基づき、その複製や使用について制限されることがあります。複製等をされる前に、著作物ごとの条件を充分ご確認の上、本製品を適正にご使用くださいますようお願いいたします。弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担いたしません。

製品構成

本製品の構成は以下の通りです。

- CD-RW900SLリライタブルレコーダー　× 1
- RC-RW900SLリモコン　× 1
- 電源コード　× 1
- 単四乾電池　× 2
- ラックマウントビスキット　× 1

取扱説明書の表記

この取扱説明書では、以下のような表記方法を使用します。

● XXX

選択可能な値を表します。

例：**SRC> XXX**（ON/OFF を選択可能）

● [ ]

ディスプレイのインジケーターを表します。

例：[**RANDOM**]

● “ ”

ディスプレイに表示される文字を表します。

例：“ **Disc Eject** ”

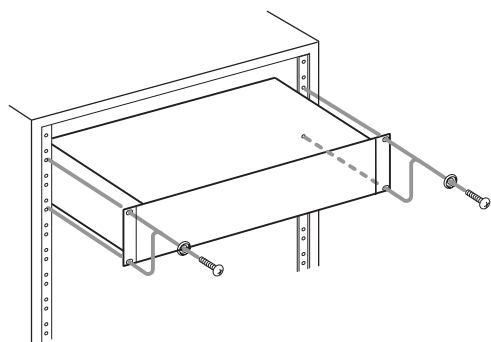
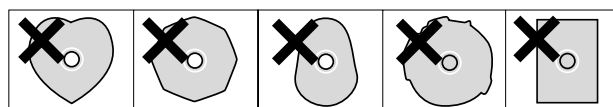
設置上のご注意

- 本製品の動作保証温度は摂氏5度 〜 35度です。
- 本製品は水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本製品の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- 本製品をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。
  なお、ラック内部では、本製品の上に1U 以上のスペースを開けてください。

使用上のご注意

- 以下のマークがあるコンパクトディスクをお使いください。

CD-R

CD-RW

- ディスクは、必ずレーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手で挟むように持ってください。
- 信号録音面（レーベルがない面）には触れないでください。
  指紋や脂などが付着していると、録音するときにエラーの原因になることがあります。
- 信号録音面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布を使って中心から外側に向かって直角に軽く拭いてください。
  ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。
- ディスクの清掃に、レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの化学薬品を使用することは絶対にお止めください。表面が変質して再生不能になる恐れがあります。
- ディスクにラベルなどを貼ることはおやめください。盤面にセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは、使用しないでください。そのまま本製品に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 市販のCD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因になります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や名刺形、八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因になりますので使用しないでください。

- いくつかのレコード会社より「コピーコントロールCD」と銘打った著作権保護を目的としたディスクが販売されています。これらはCD規則に則っていないディスクも存在するため、本機で再生できない場合があります。
- CD-RやCD-RWディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、ディスクメーカーに直接お問い合わせください。

CD-RとCD-RWについて

CD-Rディスクには、一度だけしか録音できません。録音したトラック（曲）を消去することもできません。ただし、ファイナライズ処理を施していないディスクで、ディスクの録音可能時間が残っている場合は、追加録音が行えます。録音が終わったCD-Rは、ファイナライズ処理を施すことで、一般のCDプレーヤーでも再生できるようになります(一部のCDプレーヤーでは再生できないことがあります)。
CD-RWディスクは、録音可能時間を使いきった場合でも、録音した曲を消去すれば繰り返し使用することができます。ただし、消去できるのは指定した曲から最後に録音した曲までに限られます。途中の曲だけを消去することはできません。CD-RWは、ファイナライズ処理を施しても、CD-RWに対応したCD プレーヤーでしか再生できません。

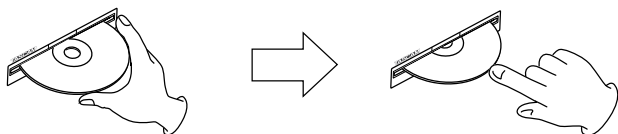
結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは約1 〜 2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

ファイナライズとは

CD-RやCD-RWディスクは、音声データを録音した後でも、最終的なTOC(*)の情報をディスクに記録しなければ、一般のCDプレーヤーで再生することはできません。このTOC を記録することをファイナライズといいます。
ファイナライズしたディスクには、それ以上録音することができません。ただしCD-RW の場合は、アンファイナライズすれば再び録音することができます（ →P28）。

* TOC ： Table of Contents ＝録音されている曲数や各曲の演奏開始時間など、録音したデータの情報

スロットインタイプのディスクの挿入

1. 図のようにレーベル面を上にしてディスクの側面を持って、途中までディスクを挿入してください。
2. さらにディスクを押していくと、ディスクが挿入口に隠れる直前で自動的に引き込まれます。

ディスクがうまく入らないとき

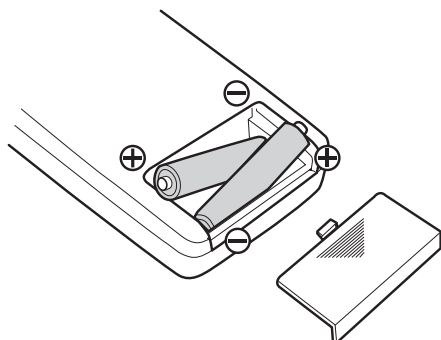
ディスクが引っかかる等、押しにくい時は、無理に押し込まずに一度ディスクを抜いてEJECTキーを押してから、再度入れ直してください。（無理に押し込むと、製品を破損する場合があります。）

リモコンの使用方法

使用上の注意

· リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
· 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させせることがありますのでご注意くださ

電池の入れ方

リモコン裏面のフタを外し、ケースの＋と－表示に合わせて乾電池(単４形)２本を入れてください。

電池の交換時期は

操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、２本とも新しい電池に交換してください。

電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。以下の注意をよく読んでご使用ください。

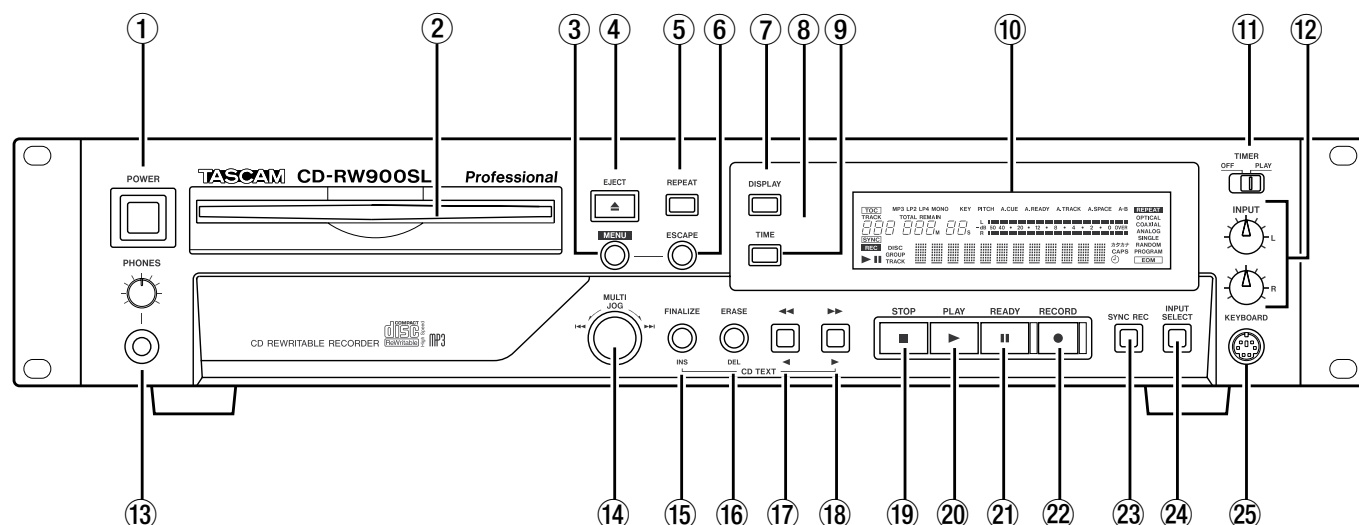
· 乾電池の＋ と－の向きを、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れてください。
· 新しい乾電池と古い乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
· 乾電池は絶対に充電しないでください。
· 長い間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
· 液もれを起こしたときは、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

アフターサービス

- この製品には保証書を別途添付しております。保証書は所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より１年です。保証期間中は記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。ただし、業務用製品の場合は、保証期間内であっても使用1,000時間を超えた場合は有償になります。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターなどにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上、ティアック修理センターまでご連絡ください。

·型名、型番（CD-RW900SL）
·製造番号（Serial No.）
·故障の症状（できるだけ詳しく）
·お買い上げ年月日
·お買い上げ販売店名

第2章　各部の名称と働き

フロントパネル

① POWERスイッチ
電源をオン／オフします。

② ディスク挿入口
ディスク（CD、CD-R、CD-RW）を挿入します。
（ディスク挿入時、ディスクが自動的に引き込まれるまで、ディスクを押し込んでください。）

③ MENUキー
各種メニューを操作するメニューモード（ → P12）に切り替えます。

④ EJECT（⏏）キー
ディスクを排出します。ディスプレイには" **Disc Eject** "と表示されます。

⑤ REPEATキー
リピート再生のオン／オフを切り替えます。

⑥ ESCAPEキー
メニューモード時、メニュー項目をキャンセルします。

⑦ DISPLAYキー
停止中にこのキーを押すと、現在のディスクタイトルがディスプレイに表示され、再生中（または一時停止中）に押すと、現在のトラックタイトルが表示されます。

⑧ 赤外線受信部
RC-RW900SL（リモコン）の操作を受信します。この部分の前に遮へい物があると、受信がうまく行えない場合がありますのでご注意ください。

⑨ TIMEキー
ディスプレイに表示される時間モードを切り替えます。

⑩ ディスプレイ
メニューや現在の動作状態を表示します。

⑪ TIMERスイッチ
タイマープレイ（ → P18）のオン／オフを切り替えます。

⑫ INPUT（L,R）つまみ
アナログ入力信号を録音するときの入力レベルを調節します。（L,R チャンネル独立）

⑬ PHONES 端子／ PHONESつまみ
ステレオヘッドホンを接続します。ヘッドホンの音量は、上側のつまみで調節します。

⑭ MULTI JOGダイアル
トラックの選択や設定値の変更に使用します。また、このダイアルを押し込むと、ENTERキーとして動作し、選択したメニューや変更した設定値が確定します。

⑮ FINALIZE/INSキー
ディスクのファイナライズ操作を行います（ → P28)。また、テキスト入力時には、カーソル位置にスペースを挿入します。

⑯ ERASE/DELキー
CD-RWディスク使用時には、トラックやディスクの消去などを行えます。また、テキスト入力時には、カーソル位置にある文字を削除します。

⑰ ◀◀/◀ キー
再生中（または一時停止中）に押し続けると、レビュー再生（サーチ）を行います。
ディレクトリ再生がオンの場合、停止中に押すと、ディレクトリを選択できます。
また、テキスト入力時には、カーソル位置を左に移動させます。

⑱ ▶▶/▶ キー
再生中（または一時停止中）に押し続けると、キュー再生（サーチ）を行います。
ディレクトリ再生がオンの場合、停止中に押すと、ディレクトリを選択できます。
また、テキスト入力時には、カーソル位置を右に移動させます。

⑲ STOP（■）キー
録音や再生を停止します。

⑳ PLAY（►）キー
録音や再生を開始します。

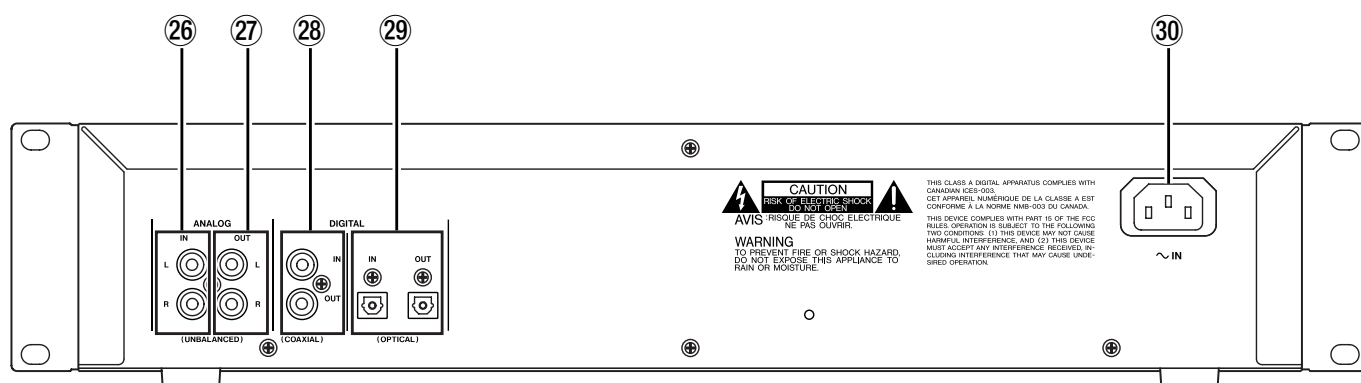
㉑ READY（❚❚）キー
録音や再生を一時停止します。

㉒ RECORD（●）キー
録音待機状態にします。また、マニュアルでトラック番号を付けるときにも使用します（ → P27）。

㉓ SYNC RECキー
シンク録音（ → P26）のオン／オフを切り替えます。

㉔ INPUT SELECTキー
録音ソースとなる入力端子を選択します。

㉕ KEYBOARD端子
IBM PC互換機用、PS/2インターフェースのキーボードを接続します。
初期設定はUSキーボード用に設定されています。USキーボードは日本語用のキーボードと配列が異なるため、日本語用キーボードを使う場合にはメニューで設定を変更してください。（「キーボードタイプの設定」（→P32）

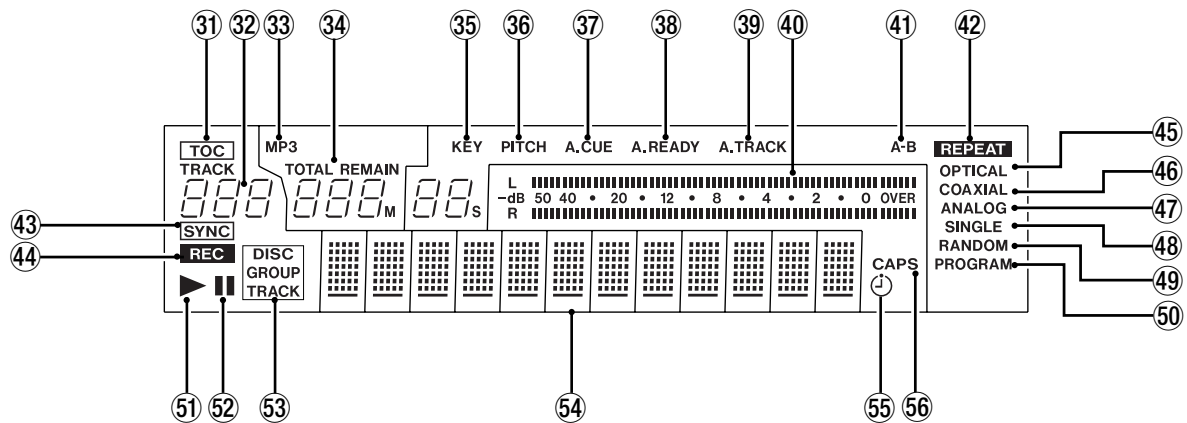
リアパネル

㉖ ANALOG IN（UNBALANCED）端子L/R
アナログ入力端子（RCA ピンジャック）です。
規定入力レベルは－10dBVです。

㉗ ANALOG OUT（UNBALANCED）端子L/R
アナログ出力端子（RCA ピンジャック）です。
規定出力レベルは－10dBVです。

㉘ DIGITAL IN/OUT（COAXIAL）端子
IEC-60958（コンシューマユース）に準拠したデジタル入力／出力端子です。

㉙ DIGITAL IN/OUT（OPTICAL）端子
IEC-60958（コンシューマユース）に準拠したデジタル入力／出力端子です。

㉚ AC IN端子
付属の電源コードを接続します。

ディスプレイ

ディスプレイには、デッキの動作モード、メニュー、CDのディスク情報などの様々な情報が表示されます。

㉛ TOC
TOC 情報が書き込まれたディスクがセットされている時に赤く点灯します。

㉜ トラック番号表示
再生中／選択中のトラック番号を表示します。

㉝ MP3
MP3ディスクがセットされている時に点灯します。

㉞ カウンター表示
時間表示モードに応じて、TOTAL、REMAINが点灯／消灯します。カウンター表示は分（3桁）秒（2桁）です。

㉟ KEY
キーコントロール機能がオンの時に点灯します。

㊱ PITCH
ピッチコントロール機能がオンの時に点灯します。

㊲ A.CUE
オートキュー機能がオンの時に点灯します。

㊳ A.READY
オートレディ機能がオンの時に点灯します

㊴ A.TRACK
オートトラック機能がオンの時に点灯します。

㊵ メーター
再生レベル、および接続機器の入力レベルを表示します。

㊶ A-B
A-Bリピート機能がオンの時に点灯します。またBポイントが設定されるまで点滅します。

㊷ REPEAT
リピート機能がオンの時に点灯します。

㊸ SYNC
SYNC録音機能がオンの時に点灯します。

㊹ REC
録音、または録音待機中でSRC機能がオンの時に点灯します。
また録音、または録音待機中でSRC機能がオフの時に点滅します。

㊺ OPTICAL
入力ソースがOPTICALに設定されている時に点灯します。

㊻ COAXIAL
入力ソースがCOAXIALに設定されている時に点灯します。

㊼ ANALOG
入力ソースがUNBALANCEに設定されている時に点灯します

㊽ SINGLE
シングル再生モードに設定されている時に点灯します。

㊾ RANDOM
ランダム再生モードに設定されている時に点灯します。

㊿ PROGRAM
プログラム再生モードに設定されている時に点灯します。

51 PLAY（►）マーク
再生中に点灯します。
オートキューポイントサーチ中は点滅します。

52 READY（❚❚）マーク
一時停止中、または録音待機中に点灯します。

53 DISC、GROUP、TRACK
ディスクがセットされていて、停止中の時に[**DISC**]が点灯します。
ディレクトリ再生モードがオンの時に[**GROUP**]が点灯します。
再生、一時停止、録音、録音待機中の時に[**TRACK**]が点灯します。

54 キャラクター表示部
ディスク情報、トラック情報、メニュー、メッセージ、時間、動作ステータスなどを表示します。

55 TIMER（⏻）マーク
タイマープレイ機能がオンの時に点灯します。

56 CAPS
タイトル入力時にCAPSモードがオンの時に点灯します。
小文字の時は何も点灯しません。

RC-RW900SL（リモコン）

① TIMEキー
フロントパネルのTIMEキー（⑨）と同じ動作です。

② DISPLAYキー
フロントパネルのDISPLAYキー（⑦）と同じ動作です。

③ REPEATキー
フロントパネルのREPEATキー（⑤）と同じ動作です。

④ A-Bキー
A-Bリピート再生（ → P18）の操作に使用します。

⑤ DIRECTORYキー
MP3ファイルのディレクトリ再生（ → P20）のオン／オフを切り替えます。

⑥ PITCHキー
ピッチコントロールのオン／オフを切り替えます。

⑦ FADERキー
録音中に、フェードイン／フェードアウトを行います（ → P24）。

⑧ RECORD（●）キー
フロントパネルのRECORD（●）キー（㉒）と同じ動作です。

⑨ SEARCH（◀◀/▶▶）キー
フロントパネルの ▶▶/▶、◀◀/◀キー（⑰、⑱）と同じ動作です。

⑩ STOP（■）キー
フロントパネルのSTOP（■）キー（⑲）と同じ動作です。

⑪ READY（❚❚）キー
フロントパネルのREADY（❚❚）キー（㉑）と同じ動作です。

⑫ SYNC REC キー
フロントパネルのSYNC RECキー（㉓）と同じ動作です。

⑬ EJECT（⏏）キー
フロントパネルのEJECT（⏏）キー（④）と同じ動作です。

⑭ 0 ～ 9キー
トラック番号を入力したり、プログラム再生を設定したりするのに利用します。

⑮ CLEARキー
0 ～ 9キーで入力した数字を取り消します。
プログラム時、最後に登録したプログラムを削除します。メニューモード時、本体ESCAPEキーと同じ動作です。

⑯ ENTERキー
フロントパネルのMULTI JOGダイアル（⑭）を押し込んだときと同じ動作です。

⑰ MENUキー
フロントパネルのMENUキー（③）と同じ動作です。

⑱ PLAY MODEキー
再生モード（ → P16）の切り替えを行います。

⑲ ERASEキー
フロントパネルのERASE/DELキー（⑯）と同じ動作です。

⑳ FINALIZEキー
フロントパネルのFINALIZE/INSキー（⑮）と同じ動作です。

㉑ REC MUTEキー
約４秒間の無音録音を行います。無音録音終了後は、録音一時停止状態になります（ → P27）。

㉒ SKIP（⏮/⏭）キー
フロントパネルのMULTI JOGダイアル（⑭）を回したときと同じ動作です。

㉓ PLAY（▶）キー
フロントパネルのPLAY（▶）キー（⑳）と同じ動作です。

オーディオ信号の接続

入力

フロントパネルのINPUT SELECT（㉔）キーで選んだ入力端子のみが有効です。次の３系統の入力端子の中から１つを選択して、接続を行います。

·ANALOG IN（UNBALANCED）端子L/R（㉖）
·DIGITAL IN（COAXIAL）端子（㉘）
·DIGITAL IN（OPTICAL）端子（㉙）

現在選ばれている入力端子は、ディスプレイで確認できます（ → P22）。

出力

次の３系統の出力端子すべてから信号が出力されます。任意の端子を選び、接続を行います。

·ANALOG OUT（UNBALANCED）端子L/R（㉗）
·DIGITAL OUT（COAXIAL）端子（㉘）
·DIGITAL OUT（OPTICAL）端子（㉙）

第3章　メニューモードの操作

ここでは、CD-RW900SLの各種設定や編集を行うモード（メニューモード）の構成や基本操作について説明します。

メニューの構成

メニューモードの構成は次のようになっています。各項目の詳細については、参照ページをご覧ください。

メニュー項目	サブメニュー項目	機能	参照ページ
PLAY	PLAY MODE	再生モードの設定	→P16
	PITCH	ピンチコントロールのオン/オフ設定	→P19
	PITCH CONT	ピンチコントロール値の設定	→P19
	PITCH STEP	ピンチコントロール可変ピッチの設定	→P19
	KEY	キーコントロールのオン/オフ設定	→P19
	KEY LEVEL	キーコントロールレベルの設定	→P19
	DIRECTORY	MP3ディスクのディレクトリ再生のオン/オフ設定	→P21
	MP3 ACTION	MP３ファイル再生時のエラー処理の設定	→P21
	READ SPEED	読み出し速度の設定	→P14
	A_READY	オートレディのオン／オフ設定	→P22
	A_CUE	オートキューのオン／オフ設定	→P22
	A_CUE LEVEL	オートキュー動作レベル の設定	→P22
REC	VOLUME	デジタル信号の入力レベルの設定	→P23
	FADE IN	録音時のフェードイン動作時間の設定	→P25
	FADE OUT	録音時のフェードアウト動作時間の設定	→P25
	SRC	サンプリングレートコンバーターのオン/オフ設定	→P23
	SYNC LEVEL	シンク録音動作レベルの設定	→P26
	A_TRK	オートトラックモードの設定	→P27
	A_TRK LEVEL	オートトラック動作レベル の設定	→P27
TEXT	TEXT EDIT	CDのトラック名またはディスク名の設定	→P31
SYSTEM	KEYBOARD	キーボードタイプの設定	→P32
	PLAY TIME	本機で再生に使用した総時間を表示	→P14
	REC TIME	本機で録音に使用した総時間を表示	→P25
	IR REMOTE	リモコン操作の禁止／許可の設定	→P13
	F_PRESET	各設定を工場出荷状態に戻します	→P13

メニュー操作の基本

1 MENU キーを押します。
メニュー選択画面になります。

2 希望のメニューを選択します。

本体操作の場合：
MULTI JOGダイアルを回して希望のメニュー項目を表示し、MULTI JOGダイアルを押し込みます。

リモコン操作の場合：
SKIPキーを使って希望のメニュー項目を表示し、ENTERキーを押します。
メニュー項目は以下の順で表示されます。

サブメニュー項目選択画面になります。
（例：再生モードの場合）

メモ

サブメニュー項目選択画面からメニュー選択画面に戻りたい場合は、本体のESCAPEキー（リモコン操作の場合CLEARキー）を押します。

3 希望のサブメニューを選択します。
本体操作の場合：
MULTI JOGダイアルを回して希望のサブメニュー項目を表示し、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
リモコン操作の場合：
SKIPキーを使って希望のサブメニュー項目を表示し、ENTERキーを押します。
（例：連続再生の場合）

設定画面になります。

メモ

サブメニュー項目選択画面に戻りたい場合は、本体のESCAPEキー（リモコン操作の場合CLEARキー）を押します。

4 設定を行ないます。

本体操作の場合：
MULTI JOGダイアルを回して希望の設定値を表示し、MULTI JOGダイアルを押し込みます

リモコン操作の場合：
SKIPキーを使って希望の設定値を表示し、ENTERキーを押します。

メモ

時間表示など、確認のみで設定のないメニュー項目もあります。

5 設定後、メニューモードを抜けます。

メモ

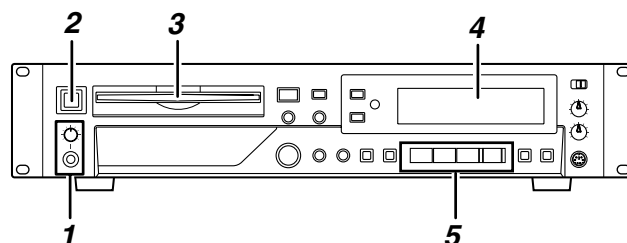
- 選択、設定途中でもMENUキーを押すとメニューモードを抜けることができます。
- メニューの設定は、電源を切っても記憶されています（TEXTを除く）。
- SYSTEMメニューのIR REMOTEサブメニューを" **Disable** "に設定すると、本機は特定のキーを除いてリモコンからの操作を受け付けなくすることが出来ます。（"**Enable** "に設定するとリモコンからの全てのキー操作が可能となります。）
- 各設定を工場出荷状態に戻す場合は、SYSTEMメニューのF_PRESETサブメニューを実行してください。（No Disc状態以外では、実行できません。）

ここでは、挿入されたCD/CD-R/CD-RWメディアを再生する方法や、CD-ROMなどのメディアにMP3フォーマットで記録されたオーディオファイルの再生方法について説明します。

再生可能なディスクについて

本機では次のようなディスクの再生に対応しています。
- CD-DA形式で記録されている市販のオーディオCD
- CD-DA形式で記録されているCD-R/CD-RW
- MP3形式のファイルが記録されているCD-ROM/CD-R/CD-RW

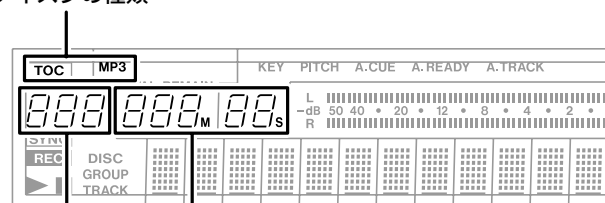
再生の基本操作

ここでは、再生／一時停止／停止などの基本操作を行う手順について説明します。

1 ヘッドホンでモニターする場合は、PHONES端子にヘッドホンを接続し、PHONESつまみを絞っておきます。

2 POWERスイッチを押して電源を入れます。

3 ディスクを、ディスク挿入口に挿入します。

4 ディスプレイには“ **Disc Loading** ”と表示され、ディスクの読み込みを開始すると“ **TOC Reading** ”に切り替わります。
ディスクの読み込みが完了すると、ディスプレイに総トラック数と総再生時間が表示されます。

ディスクの種類

総トラック数　総再生時間

なお、挿入したディスクの種類は、次のように表示されます。

TOC ：ファイナライズ済のメディアを示します。ファイナラズ処理していないCD-RまたはCD-RWメディアの場合、消灯となります。

MP3 ：MP3ファイルが記録されたメディア

5 再生を始めるには、PLAY（►）キーを押します。
接続されているモニターシステム、またはPHONESつまみを

操作して、適切なモニターレベルに設定してください。
なお、一時停止や停止の操作は、次のように行います。

再生を一時停止するには

READY（❚❚）キーを押します。もう一度PLAY（▶）キーを押すと、再び再生が始まります。

再生を止めるには

STOP（■）キーを押します。

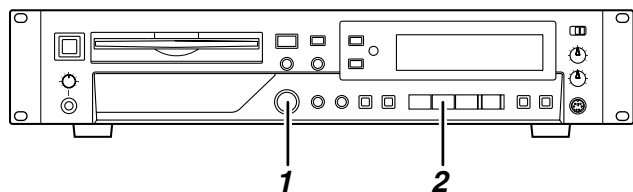
メモ

- この取扱説明書では、特に断りがない限り、再生モード（ → P16）が連続再生に設定されているものとして説明しています。
- SYSTEMメニューのPLAY TIMEサブメニューを表示すると本機で再生した総時間を確認できます。
- PLAYメニューのREAD SPEEDサブメニューを " High " に変更すると、傷や汚れ等で読み取りづらいディスクの再生が可能になる場合があります。設定を " High " にして再生を行うと回転音等の動作音が大きくなります。

選曲

ここでは、複数のトラックを含むCD を再生するときに、選曲を行う方法を説明します。選曲方法には、前後のトラック番号に移動する方法（スキップ）と、トラック番号を直接指定する方法があります。

スキップ

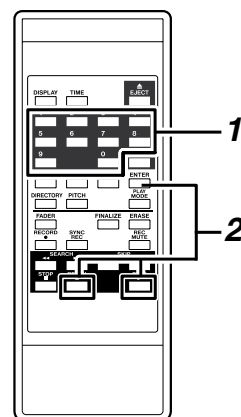
前後のトラック番号にスキップする方法を説明します。

1 フロントパネルのMULTI JOGダイアルを回して（またはリモコンのSKIPキーを押して）トラックを選びます。
ダイアルまたはキーを使用したときの動作は、次の通りです。

・MULTI JOGダイアル
右に回すと後ろのトラック番号、左に回すと手前のトラック番号に移動します。

・SKIPキー
▶▶❙キーを押すと後ろのトラック番号、❙◀◀キーを押すと手前のトラック番号に移動します。

2 フロントパネルのPLAY（▶）キー（またはリモコンのPLAY（▶）キー）を押します。
選択したトラックの再生が始まります。また、PLAY（▶）キーの代わりにフロントパネルのREADY（❚❚）キー（またはリモコンのREADY（❚❚）キー）を押した場合は、選択したトラックの先頭に移動した後、一時停止状態になります。

トラック番号の指定選曲

リモコンの0 ～ 9キーを使用して、再生するトラック番号を直接指定する方法を説明します。

1 リモコンの0 ～ 9キーを使って、トラック番号（最高3桁）を入力します。
トラック番号は高い桁の数字から順に入力します。

・トラック1を指定する場合
1キーを 1回押す。

・トラック12を指定する場合
1キー→ 2キーの順に押す。

・トラック103を指定する場合
1キー→ 0キー→ 3キーの順に押す。

2 リモコンのPLAY（▶）キーを押します。
選択したトラックの再生が始まります。また、この手順でPLAY（▶）キーの代わりにリモコンのREADY（❚❚）キーを押した場合は、選択したトラックの先頭に移動した後で、一時停止状態になります。

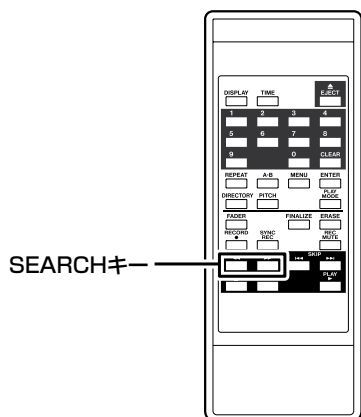
メモ

- PLAY（▶）キーを押す代わりにMULTI JOGダイアルを押し込んで（またはリモコンのENTER キーを押して)、トラック番号を確定することもできます。
- プログラム、ランダムモード時はテンキーによるトラック指定は出来ません。

トラックのサーチ

再生中（または一時停止中）に、トラックの聴きたい部分をサーチできます。サーチ方法には、音声を聞きながら早送り／巻き戻しを行う通常のサーチと、任意のトラック／時間を直接指定して移動するサーチ（ダイレクトサーチ）があります。

通常のサーチ

フロントパネルの ►► /►、◄◄ /◄ キー（またはリモコンのSEARCHキー）を使って、音声を聞きながらトラックをサーチする方法を説明します。

1 任意のトラックを再生状態、または一時停止状態にします。

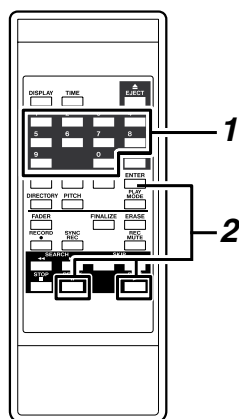
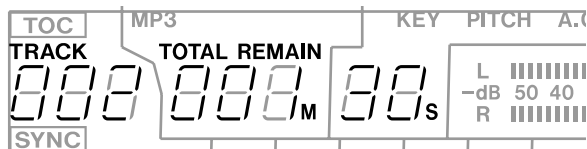
2 フロントパネルの ►► /►、◄◄ /◄ キー（またはリモコンのSEARCHキー）の一方を押し続けます。
前方（►►）または後方（◄◄）へのサーチが始まります。

3 サーチを止めるには、フロントパネルの ►► /►、◄◄ /◄ キー（またはリモコンのSEARCHキー）を放します。
サーチを行う前の状態（再生または一時停止）に戻ります。

メ モ

MP3ファイルは、通常のサーチは行えません。

ダイレクトサーチ

任意のトラック／時間を直接指定して移動するサーチ（ダイレクトサーチ）について説明します。

1 ダイレクトサーチを行うには、リモコンの0 ～ 9キーを使って、次の順に8桁の数字を入力します。
・トラック番号（3桁）
・トラックの先頭からの経過時間（分）（3桁）
・トラックの先頭からの経過時間（秒）（2桁）
例えば、トラック2 の1 分30 秒の位置を指定する場合は、次の順にキーを押します。
0 → 0 → 2 → 0 → 0 → 1 → 3 → 0

8桁の入力が完了した時点で、即座に該当する位置に移動します。

メ モ

- ダイレクトサーチは、トラックが停止、再生、一時停止のどの状態であっても利用できます。
- 停止状態または再生状態のときにダイレクトサーチを行うと、移動した位置から再生を始めます。また、一時停止中だった場合は、移動した位置でも一時停止になります。

注 意

- MP3ディスクが挿入されているときは、トラック内の時間指定ができません。トラック番号（先頭から3桁）を入力した時点で、指定したトラックが再生されます。
- 現在挿入されているディスクに存在しないトラック番号や時間を指定すると、その時点で設定操作が解除されます。
- プログラム、ランダムモード時はダイレクトサーチは出来ません。

2 トラック番号のみ、またはトラック番号＋分単位で位置を指定したいときは、必要な数値のみを入力したところで、リモコンのENTERキー（またはPLAY（►）、READY（❚❚）キー）を押します。

トラック番号のみを指定した場合

トラック番号（最大3桁）を指定してからリモコンのENTERキー（またはPLAY、READYキー）を押すと、ダイレクトサーチが実行されます。分と秒の桁は、すべて0 になります。

メ モ

この方法でトラックを指定するときは、先頭の0 または00 を省略できます。例えばトラック2 を選ぶときは2、トラック12 を選ぶときは1 → 2 の順で押してからENTERキー（またはPLAY（►）、READY（❚❚）キー）を押します。
停止状態または再生状態のときにENTERキーを使ってダイレクトサーチを行うと、移動した位置から再生が始まります。また、一時停止中だった場合は、移動先でも一時停止します。
PLAY（►）キーを押してダイレクトサーチを行った場合は、移動した位置から即座に再生が始まります。また、READY（❚❚）キーを押した場合は、移動した位置で一時停止状態になります。

メ モ

この動作は、「トラック番号の指定選曲」(→ P14)と同じです。

トラック番号と分単位の位置を指定した場合

トラック番号と分単位の開始位置（合計6桁）を指定してからリモコンのENTERキー（またはPLAY（►）、READY（❚❚）キー）を押すと、ダイレクトサーチが実行されます。この場合、秒の桁は0になります。

各キーを押したときの動作は、トラック番号のみを指定した場合同じです。

例えば、トラック2の1分00秒の位置を指定する場合は、次順にキーを押します。

0 → 0 → 2 → 0 → 0 → 1 →リモコンのENTERキー（またPLAY（►）、READY（❚❚）キー）

メ モ

この方法で指定するときは、分の先頭の0を省略できます。上記の例では、0 → 0 → 2 → 1 の順で押してからENTERキー（またはPLAY（►）、READY（❚❚）キー）を押します。

再生モード

本機では、4種類の再生方法（再生モード）の中から1つを選んで使用できます。選択できる再生方法は次の通りです。

連続再生（初期設定）

トラック番号の順番通りに再生します。

シングル再生

1 トラックだけを再生し、再生後に停止します。

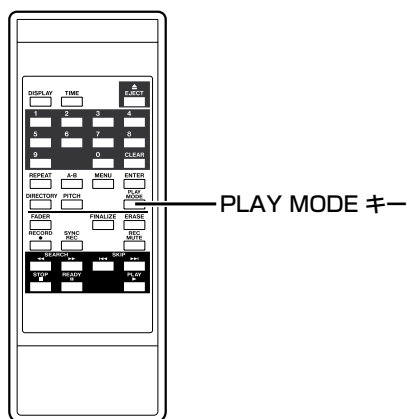
プログラム再生

トラックを登録した順序で再生します。

ランダム再生

ディスクのすべてのトラックをトラック番号に関係なく、ランダムに再生します。

再生モードを切り替えるには、リモコンのキーを使用する方法と、メニューモードを使用する方法があります。

リモコンのキーを使用する場合

1 停止状態で、リモコンのPLAY MODEキーを繰り返し押します。
キーを押すたびに、モードが切り替わります。ディスプレイには、現在選ばれているモードが次のように表示されます。

ディスプレイ	表示再生モード
Continue	連続再生
Single	シングル再生
Program	プログラム再生
Random	ランダム再生

2 PLAY MODEキーの操作を終えてしばらくすると、元の表示に戻ります。
選択中の再生モードにより、画面右部に次のような表示が現れます。

再生モード	インジケーター表示
連続再生	表示無し
シングル再生	[**SINGLE**]が点灯
プログラム再生	[**PROGRAM**]が赤く点灯
ランダム再生	[**RANDOM**]が赤く点灯

メニューモードを使用する場合

1 停止状態で、「メニュー操作の基本」(→P12）を参考に、メニュー項目 “ **PLAY MODE?** ” を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。

2 MULTI JOGダイアルを回して、再生モードを選びます。
変更した再生モードは即座に反映されます。ディスプレイには、現在選ばれているモードが次のように表示されます。

ディスプレイ表示	再生モード
Mode>Cont	連続再生
Mode>Single	シングル再生
Mode>Program	プログラム再生
Mode>Random	ランダム再生

3 メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENU キー、またはMULTI JOGダイアルを押し込みます。

注 意

変更した再生モードは、電源を切っても保持されます。

連続再生

トラック番号の順番通りに再生する標準的な再生モードです。

1 停止状態で、再生モードを “ **Continue** ” または “ **Mode>Cont** ” に設定します。

設定方法は「再生モード」(→P16）をご参照ください

2 フロントパネル（またはリモコン）のPLAY（►）キーを押します。

トラック番号の順に再生が行われます。

シングル再生

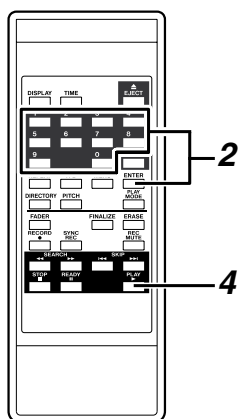
1 トラックだけを再生する再生モードです。

1 停止状態で、再生モードを “ **Single** ” に設定します。
設定方法は「再生モード」(→P16）をご参照ください。

2 必要ならば、リモコンのSKIPキー、リモコンの0 ～ 9、フロントパネルのMULTI JOGダイアルなどを使って、再生するトラックを選びます（→P14)。

3 フロントパネル（またはリモコン）のPLAY（►）キーを押します。
1トラックだけ再生を行い、再生後に停止します。

プログラム再生

あらかじめプログラムされた順序でトラックを再生する再生モードです。プログラムできるトラック数は最大99トラックです。

1 停止状態で、再生モードを " **Program** " に設定します。
設定方法は「再生モード」（ → P16）をご参照ください。

2 リモコンの0 ～ 9キーを使ってプログラムするトラック番号を入力し、ENTERキーを押して確定します。
トラック番号がプログラムされます。

メ モ

MULTI JOGダイアルを回してトラックを選び、MULTI JOGダイアルを押し込むことでも、プログラムが行えます。

3 手順2 を繰り返して、1曲めから最後までプログラムを行います。

メ モ

- 同じトラックを繰り返しプログラムすることも可能です。
- リモコンのCLEARキーを押すと、最後にプログラムしたトラックがプログラムデータから消去されます。
- 100曲以上をプログラムしようとすると、エラーメッセージ " PGM Full! " が表示されます。プログラムできるのは99曲までです。
- プログラムしたトラックの総再生時間が999分59秒を越えると、" ---:-- " と表示されます。

4 PLAY（►）キーを押してプログラム再生を始めます。

注 意

- この再生モードでは、トラックが1つもプログラムされていないときは再生が行われません。
- 停止中にSTOPキーを押すと、プログラムデータがすべて消去されます。
- 停止中に再生モードを切り替えると、プログラムデータがすべて消去されます。
- 本体の電源を切ると、プログラムデータがすべて消去されます。

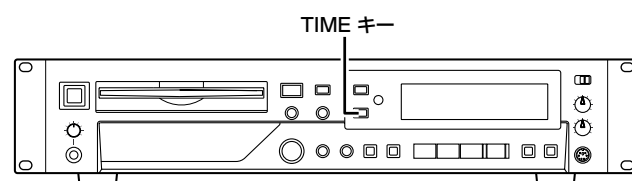
ランダム再生

すべてのトラックをランダムに再生します。

1 停止状態で、再生モードを " **Random** " に設定します。
設定方法は「再生モード」（ → P16）をご参照ください。

2 フロントパネル（またはリモコン）のPLAY（►）キーを押します。
トラック番号に関係なく、すべてのトラックをランダムに再生します。

時間表示の切り替え

ここでは、時間表示を切り替える方法を説明します。

フロントパネル（またはリモコン） のTIMEキーを押します。
キーを押すたびに、4種類の時間表示が切り替わります。現在選ばれている表示方法は、以下のインジケーターの状態で確認できます。

表示なし

現在のトラックの経過時間を表示します。

[REMAIN]が点灯

現在のトラックの残り時間を表示します。

[TOTAL]が点灯

ディスクの経過時間を表示します。

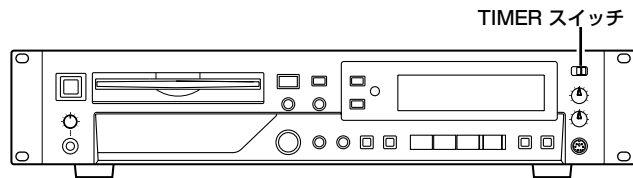
[TOTAL]と[REMAIN]が点灯

ディスクの残り時間を表示します。

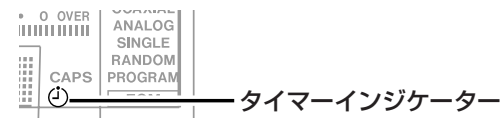
メ モ

- 停止中は、[TOTAL]、[REMAIN]の点灯状態にかかわらず、常にディスク全体の録音時間を表示します。
- プログラムモードでは、ディスク全体ではなくプログラム全体の経過時間と残り時間を表示します。
- MP3ファイルを再生する場合、常にトラック経過時間が表示されます。TIME キーの操作は無効です。
- 録音中／録音待機中の時間表示については、「録音」の「時間表示の切り替え」（ → P25）をご参照ください。

タイマープレイ

タイマープレイは、電源を入れると自動的に再生を始める機能です。この機能をオンに設定しておき、市販のタイマーなどを使って外部から本機の電源を入れれば、お好きな時間に再生を開始できます。

1 本機の電源がタイマーの電源出力から供給されるように、本機をタイマーに接続します。

2 再生するディスクを挿入します。

3 本体のTIMERスイッチをPLAY側に切り替えて、タイマープレイ機能をオンにします。
タイマープレイ機能がオンのとき、ディスプレイにタイマーインジケーターが点灯します。

メ モ

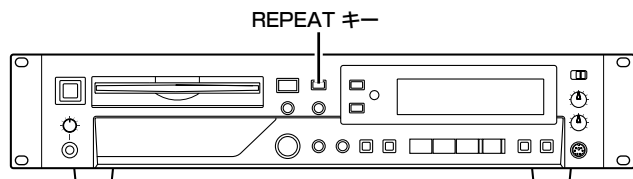
ディスクが挿入されていないときは、タイマーインジケーターが点滅します。

4 タイマーを希望の時刻に設定します。
タイマーを設定した時刻になると本機の電源がオンになり、自動的に再生を始めます。

リピート再生

ここでは、現在セットされているディスクの全トラックを繰り返し再生したり、トラック内の特定区間を繰り返し再生（A-B リピート再生）したりする方法について説明します。

通常のリピート再生

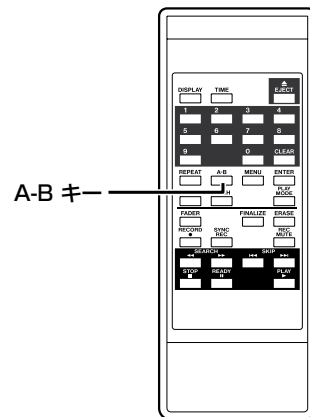
ディスクのすべてのトラックを繰り返し再生します。

1 フロントパネル（またはリモコン）のREPEATキーを押して、リピート再生をオンにします。
ディスプレイに“ **Repeat ON** ”と表示され、[**REPEAT**]インジケーターが点灯します。
この状態で、ディスクのすべてのトラックを繰り返し再生できます。
再生中にリピート再生をオンにした場合は、そのまま再生を続け、ディスクの最後まで再生すると先頭に戻って再生を続けます。停止中にオンにした場合は、PLAY（►）キーを押すとリピート再生が始まります。

2 リピート再生をオフにするには、フロントパネル（またはリモコン）のREPEATキーをもう一度押します。
ディスプレイに“ **Repeat OFF** ”と表示され、[**REPEAT**]インジケーターが消灯します。

メ モ

- リピート再生をシングル再生、プログラム再生、ランダム再生と組み合わせると、1曲リピート、プログラムリピート、ランダムリピートが行えます。
- リピート機能の設定は、電源を切っても記憶されています。（A-B点は記憶されません。）

A-Bリピート再生

トラック内の区間（A-B）を指定して、繰り返し再生します。

1 再生中にA-Bリピート再生の始点（A）にしたい位置で、リモコンのA-Bキーを押します。
ディスプレイの[**REPEAT**]インジケーターが点灯し、[**A-**]インジケーターが点滅します。

2 繰り返したい区間の終点（B）で、もう一度リモコンのA-Bキーを押します。
ディスプレイの[**REPEAT**]インジケーターに加えて、[**A-B**]インジケーターが点灯します。
これで区間（A-B）が確定し、A-Bリピート再生が始まります。

メ モ

一時停止してから始点（A）と終点（B）を設定することも可能です。

3 A-B リピート再生をオフにするには、リモコンのA-B キー、またはREPEATキーを押します。
ディスプレイの[**REPEAT**]インジケーターと、[**A-B**]インジケーターが消灯し、A-Bリピート再生が解除されます。再生中に解除した場合は、A-Bリピート再生の終点に指定した位置を越えても再生が続きます。

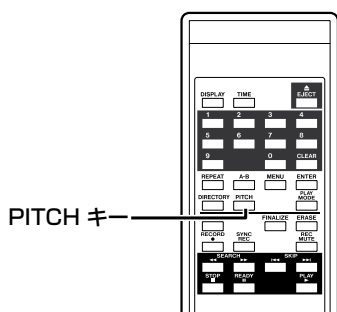
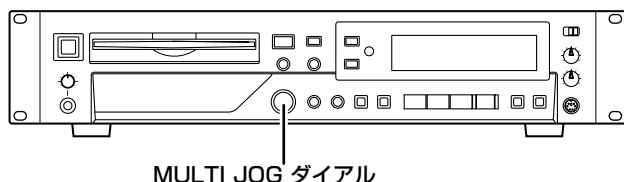
注 意

- STOPキーを押すと、指定した区間（A-B）は消去されます。
- MP3ファイルでは、A-Bリピート再生は行えません。
- トラックを跨いでの、A-Bリピート再生は行えません。

ピッチコントロール再生

本機では、ピッチ（音の高さと再生の速さ） を変化させて再生できます（ピッチコントロール再生）。

メモ

以下の説明では、ピッチコントロールモードのオン／オフの切り替え操作を、メニューモードを使用して行いますが、リモコンのPITCHキーを使用することもできます。

1. 停止状態で、「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、メニュー項目 “ **PITCH?** ” メニューを表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
   ディスプレイに “ **Pitch> XXX%** ”（ON/OFFを選択可能）が表示されます。
2. MULTI JOGダイアルを回して、ピッチコントロール再生のオン／オフを切り替えます。
   オンにするとディスプレイで[**PITCH**]インジケーターが点灯します。
3. 「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、サブメニュー項目 “ **PITCH CONT?** ” を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
   ディスプレイに “ **Pitch> XXX%** ”（－16.0 ～ 0.0 ～＋16.0を選択可能）と表示されます。
4. MULTI JOG ダイアルを回して、ピッチコントロール値を設定します

メモ

調節する値の細かさは、メニュー項目 “ PITCH STEP? ” を使って、0.1％～ 1.0％の範囲で設定できます。

5. メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENUキー、またはMULTI JOGダイアルを押し込みます。
6. ピッチコントロール再生を一時的にオフにするには、リモコンのPITCHキーを押します。
   ディスプレイに “ **Pitch OFF** ” が表示され、ピッチコントロール再生がオフになります。元に戻すには、もう一度同じキーを押します。

注 意

- 再生中にピッチコントロール再生のオン／オフを切り替えると、再生音が瞬間的に途切れることがありますのでご注意ください。
- MP3ファイルに対してはピッチコントロールが働きません。

キーコントロール再生

オーディオCD再生時に、キーを変えることができます。
MP3ディスクに対しては本機能は働きません。

1. 停止状態で、「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、サブメニュー項目“**KEY?**” を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
   ディスプレイに“**Key> XXX)**”（ON/OFFを選択可能）が表示されます。
2. MULTI JOGダイアルを回して、キーコントロール再生のオン／オフを切り替えます。
   オンにするとディスプレイで[**KEY**]インジケーターが点灯します。
3. 「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、サブメニュー項目 “ **KEY LEVEL?** ” を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
   ディスプレイに “ **Key Level> XXX** ”（選択値：0（音程の変化無し）、♭ 1 ～♭ 6、＃ 1 ～＃ 6）と表示されます。
4. MULTI JOGダイアルを回して、キーコントロールレベルの値を設定します。
   この状態でCDを再生すると、スピードは変わらず、キーだけが変化して再生されます。

ヒント

キーコントロール機能がオンのときにピッチコントロール機能を使うと、再生スピードが変わるだけで音程は変わりません（再生される音程は “ **KEY LEVEL?** ” 項目で設定された音程に固定されます）。
したがって “ **KEY LEVEL?** ” を “ **0** ” に設定してキーコントロール機能をオンにしておくと、ピッチコントロールを使って音程を変えずに再生スピードだけを変えることができます。

注 意

キーコントロール機能を使用している時に再生音が震えているように聞こえることがありますが、これはCDの再生音を特殊処理している為に発生するもので、故障ではありません。

MP3ファイルの再生

ここでは、MP3ファイルが収録されたディスク（MP3ディスク）を再生する方法を説明します。
MP3ディスクを再生するには、ディスク内のすべてのMP3ファイルを再生対象にする方法と、特定のディレクトリ（フォルダ）に含まれるMP3ファイルのみを再生対象にする方法（ディレクトリモード）があります。

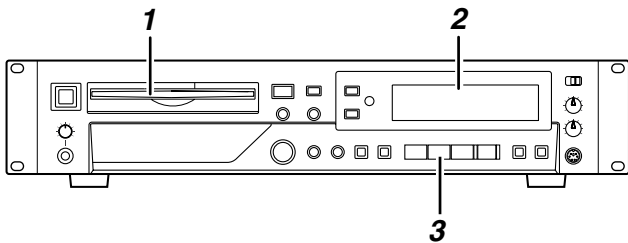
メモ

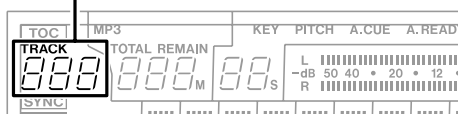
- 本機ではISO9660レベル1、レベル2、またはJolietに準拠したフォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。また、マルチセッションで記録されたディスクも再生することが可能です。
- MP3ファイルとディレクトリ数に以下のような制限を設けております。
  最大ディレクトリ数：255
  最大階層数：8
  最大MP3ファイル数：999
  最大MP3ディレクトリ名、ファイル名、ID3Tag名：255文字
- MP3のトラック情報について
  再生中にディスプレイに表示される優先順位はID3v2 ＞ID3v1 ＞ファイル名となっています。
  また、停止中はファイル名を表示します。

注 意

44.1kHz以外のサンプリングレートで変換されたMP3ファイルは、正常に再生できません。推奨フォーマットはサンプリングレート44.1kHz、ビットレート128kbps以上です。

すべてのMP3ファイルを再生する

本機では、MP3ディスクを通常のディスクと同じように再生できます。

1 MP3ファイルの収録されたディスクをディスク挿入口に挿入します。

2 ディスプレイには“ **Disc Loading** ”と表示され、ディスクの読み込みを開始すると、“ **TOC Reading** ”に切り替わります。
ディスクの読み込みが完了すると、ディスプレイの[**MP3**]インジケーターが点灯し、MP3ディスクの総トラック数が表示されます。総再生時間は表示されません。

メモ

- MP3ファイルが保存されたディスクでは、それぞれのMP3ファイルが「トラック」として扱われます。
- MP3ディスク内部が複数のディレクトリ（階層構造）に分かれている場合でも、子ディレクトリや孫ディレクトリにあるすべてのMP3ファイルが読み出されます。
- トラック番号は、ルートディレクトリ（ディスクの最上段の階層）にあるMP3を先頭に自動的に付けられます。

3 再生を始めるには、PLAY（►）キーを押します。
MP3が再生されます。

メモ

- 選曲は通常のディスクを操作するときと同じように行えます。
- プログラム再生、リピート再生（A-B リピート再生を除く）などは、通常のディスクと同じように行えます。
- 再生、または一時停止中にDISPLAYキーを押すと、現在再生されているMP3ファイルのID3Tag、ID3Tagが存在しない場合は、ファイル名が確認できます。

注 意

MP3ディスクでは、トラックのサーチが行えません。

ディレクトリを指定して再生する

MP3ディスク内部のディレクトリ単位でMP3ファイルの再生を行うディレクトリモードについて説明します。

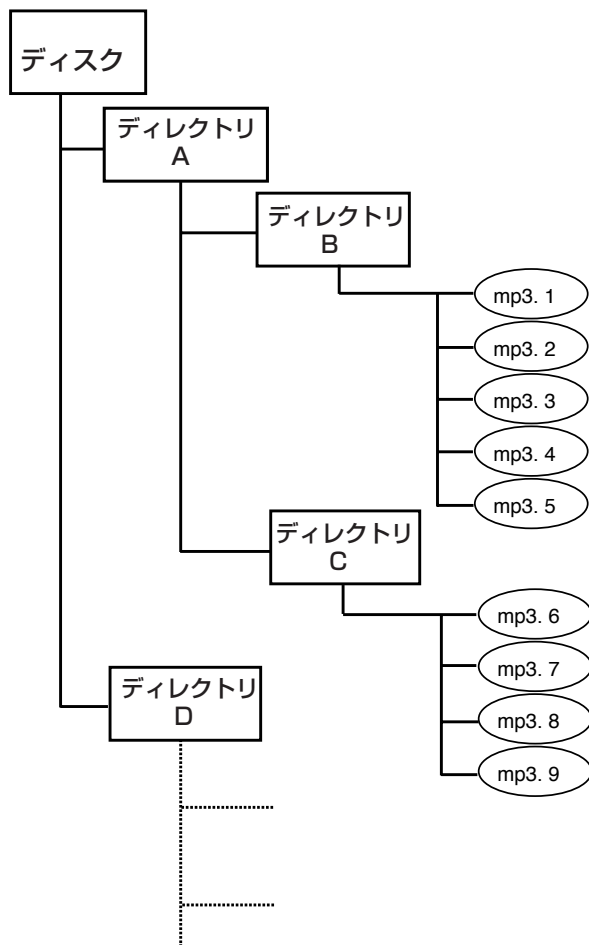
ディレクトリ再生について

ディレクトリとは、CDメディアやハードディスク上の階層のことで、フォルダと呼ばれれることもあります。
ディレクトリモードをオンにすると、選択されたディレクトリ内のファイルのみが操作対象になり、プログラム再生、リピート再生などもすべて同じディレクトリ内で行われます。
ディレクトリモードがオフのときは、ディレクトリ構造が無視され、ディスクに収録されているすべてのMP3 ファイルが再生対象になります。

メモ

MP3ファイルが収納されていないディレクトリは操作対象として選択できません。たとえば次ページの階層図の場合、MP3ファイルが収納されているディレクトリB、Cは、操作対象ディレクトリとして選択できますが、ディレクトリAは操作対象から外されます。

注 意

ディレクトリモードをオンにすると、ルートディレクトリ（下図のディレクトリAやディレクトリDがある、最上段の階層）にあるMP3ファイルは再生の対象外となります。

ディレクトリ再生の設定

ディレクトリモードのオン／オフを切り替える方法と、ディレクトリモードの操作について説明します。

メ モ

以下の説明では、ディレクトリモードのオン／オフの切り替え操作を、メニューモードを使用して行ないますが、リモコンのDIRECTORYキーを使用することもできます。

1 「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、サブメニュー項目 “ **DIRECTORY?** ” を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
ディスプレイに “ **DIR> XXX** ” (ON/OFFを選択可能)が表示されます。

2 MULTI JOGダイアルを回して、ディレクトリモードのオン／オフを切り替えます。
オンにするとディスプレイで [**GROUP**]インジケーターが点灯します。

3 メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENUキーを押します。

4 操作対象となるディレクトリを選ぶには、停止中のとき、◄◄/◄キー、►►/►キー（またはリモコンのSEARCHキー）を操作します。
ディスプレイに “ **DIR XXX** ”（ディレクトリの番号を選択可能）が表示されます。
操作を止めてしばらくすると、元の表示に戻ります。このとき最後に表示されていたディレクトリが、操作対象になります。

メ モ

MP3ファイルが存在しないディレクトリは、操作対象として表示されません。このため、選択するディレクトリの番号が連続していない場合もあります。

5 フロントパネル（またはリモコン）のPLAY（►）キーを押します。
選択したディレクトリ内で再生が始まります。プログラム再生、リピート再生などもすべて同一ディレクトリ内で行われます。

メ モ

再生中はMULTI JOGダイアル（またはリモコンのSKIPキー）を使って、トラック（MP3ファイル）の選択が行えます。

MP3 ACTIONの設定

MP3 ACTIONの設定と、MP3ファイル再生時、MP3ファイルの再生に失敗した時（ **Decode Err!** ）、再生を継続するか停止するかの方法について説明します。

1 「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、サブメニュー項目 “ **MP3 ACTION?** ” を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。

ディスプレイに “ **Error> XXXX** ” (Skip/Stop を選択可能）が表示されます。

2 MULTI JOGダイアルを回して、MP3 ACTIONのSkip／Stopを切り替えます。

3 メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENU キーを押します。

・Stop
MP3ファイルの再生に失敗（ **Decode Err** が発生）した場合、停止状態となります。
（ディスプレイに “ **Decode Err!** ” を表示します。）

・Skip
MP3ファイルの再生に失敗（ **Decode Err** が発生）した場合、次のトラックの再生を行います。
ただし、次のトラックがない（リピートがオフでディスクの最終トラック、またはプログラムの最後）場合、停止状態となります。
（ディスプレイに “ **Decode Err!** ” を表示します。）

オートキュー機能

指定したレベル以上の音量を検知して、一時停止状態にさせる方法（オートキュー機能）について説明します。

1 「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、メニュー項目 " **PLAY?** " → " **A_CUE LEVEL?** " を選択します。
   ディスプレイに " **A_Cue> XXX** "（－24dB ～－72dB／6dBステップを選択可能）が表示されます。

2 MULTI JOGダイアルを使って、オートキュー機能が働く音量のしきい値を設定します。

3 「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、メニュー項目 " **A_CUE?** " メニューを表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
   ディスプレイに " **A_Cue> XXX)** "（ON/OFFを選択可能）が表示されます

4 MULTI JOGダイアルを回して、オートキュー機能のオン／オフを切り替えます。
   オートキュー機能がオンになると、ディスプレイの[**A.CUE**]インジケーターが点灯します。

5 フロントパネル（またはリモコン）のPLAY（►）キーを押して、任意のトラックを再生します。
   この状態で指定したレベル以上の音量を検知すると、自動的に一時停止状態になります。

オートレディ機能

再生中のトラックが終了した後、次のトラックの先頭で一時停止状態にする方法（オートレディ機能）について説明します。

1 「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、メニュー項目 " **A_READY?** " メニューを表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
   ディスプレイに " **A_Ready> XXX)** "（ON/OFFを選択可能）が表示されます。

2 MULTI JOGダイアルを回して、オートレディ機能のオン／オフを切り替えます。
   オートレディ機能がオンになると、ディスプレイの[**A.READY**]インジケーターが点灯します。
   この状態で再生中のトラックが終了すると、次のトラックの先頭で自動的に一時停止状態になります。

ヒント

オートキュー機能と組み合わせると、次のトラックの音の立ち上がりで一時停止状態にできます。

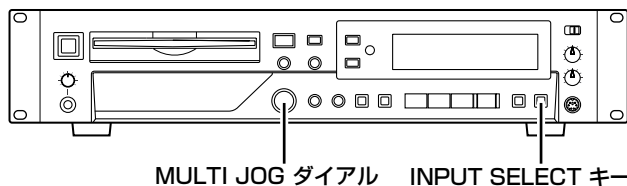
ここでは、挿入したCD-R/CD-RWメディアに録音を行う方法や、録音時の各種機能について説明します。

録音する前に

以下の項目は、録音を行うときに知っておくと、不要なトラブルが避けられます。一通りお読みになってから、録音の準備を行ってください。

- CDの規格により1枚のディスクには99トラック（曲）までしか録音できません。また、4秒以下の曲は録音できません。
- 録音を始めてから4秒以内にSTOPキーまたはREADYキーを押した場合は、4秒経ってから停止、または録音待機状態となります。その間は無音録音状態になります。
- 録音の途中で99曲まで達した場合は、“ **Disc Full!** ”と“ **PMA Writing** ”を表示した後、停止します。
- 録音の途中でディスクの録音可能時間を使いきった場合は、フェードアウトした後、“ **Disc Full!** ”と“ **PMA Writing** ”を表示して停止します。
- 途中まで録音してあるディスク（ファイナライズ処理されていないもの）を入れた場合は、追記録音することができます。
- ファイナライズ済みのCD-RWにさらに録音したいときは、一度アンファイナライズします（ → P27）。

入力信号の選択

入力信号（録音ソース）は、3系統の中から1系統を選択します。

録音ソースを選択するには、フロントパネルのINPUT SELECTキー（またはリモコンのINPUT SELキー）を押します。
キーを押すたびに、3種類の録音ソースが切り替わります。現在選ばれている録音ソースは、以下のインジケーターの状態で確認できます。

[ANALOG]が点灯
録音ソースとして、ANALOG IN（UNBALANCED）端子L/Rの入力信号を選択します。
ディスプレイには、しばらくの間“ **Analog** ”が表示されます。

[OPTICAL]が点灯
録音ソースとして、DIGITAL IN（OPTICAL）端子の入力信号を選択します。
ディスプレイには、しばらくの間“ **Optical** ”が表示されます。

[COAXIAL]が点灯
録音ソースとして、DIGITAL IN（COAXIAL）端子の入力信号を選択します。
ディスプレイには、しばらくの間“ **Coaxial** ”が表示されます。

サンプリングレートコンバーターを使用する

本機は常に44.1kHz（CD のサンプリングレート）で録音します。ただし、DIGITAL IN端子（OPTICAL、COAXIAL）から異なるサンプリングレートの信号をデジタル録音する場合は、以下の方法でサンプリングレートコンバーター（SRC）をオンにする必要があります。

1 「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、サブメニュー項目“ **SRC?** ” を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
ディスプレイに“ **SRC> XXX** ”（ON/OFFを選択可能）が表示されます。

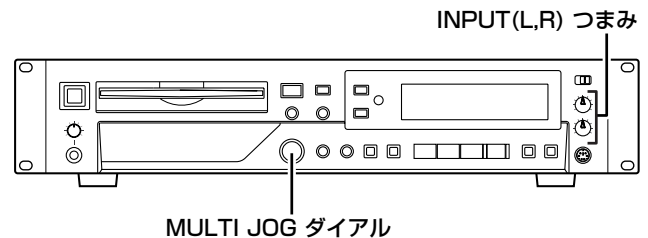
2 MULTI JOGダイアルを回して、SRCのオン／オフを切り替えます。

3 メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENUキー、またはMULTI JOGダイアルを押し込みます。

メ モ

- SRCがオフの状態で信号をDIGITAL IN 端子（OPTICAL、COAXIAL）から受信しているとき、記録中、記録待機中にディスプレイの[**REC**]インジケーターが点滅します。
- SRCがオフのとき、44.1kHz以外のデジタル信号は録音できません。録音しようとすると、エラーメッセージ“ **Not Fs44.1K!** ”が表示されます。

入力信号の調節

ここでは、入力信号のレベルを調節する方法について説明します。

1 録音ソースとして設定した端子に、録音元の再生装置などが接続されていることを確認してください。

2 録音ソースがアナログの場合（[**ANALOG**]が点灯している場合）は、INPUT (L,R)つまみを使って、接続した再生装置からの信号レベルを調節します。
ディスプレイに表示されるメーターがクリップしない範囲で、レベルをできるだけ高めに設定してください。
INPUT (L,R)つまみは、左右のレベルを個別に調整できます。

注 意

録音ソースがデジタル信号の場合、INPUT（L,R）つまみの設定は無効です。

メ モ

INPUT（L,R）つまみは、ANALOG IN（UNBALANCED）端子L/Rの入力信号が、デジタル信号に変換される前のレベルを調節しています。

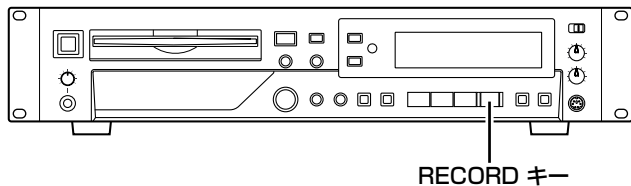
3 ディスクに録音されるレベル（デジタルボリューム）を、次の手順に従って設定します。
① 「メニュー操作の基本操」（ → P12）を参考に、サブメニュー項目 “ **VOLUME?** ” を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
ディスプレイに “ **Vol> XXXdB** ”（−∞、−54.0 ～+18.0を選択可能）と表示されます。
② MULTI JOGダイアルを回して、録音レベルを設定します。
アナログ信号を入力している場合、レベルは手順2のINPUT（L,R）つまみで調節しておき、デジタルボリュームは0dBにするのが理想的です。
デジタル信号を入力している場合は、レベルの低すぎる信号や高すぎる信号を補正するのに利用します。

注 意

デジタルボリュームを不用意に上げると、信号がクリップしますのでご注意ください。

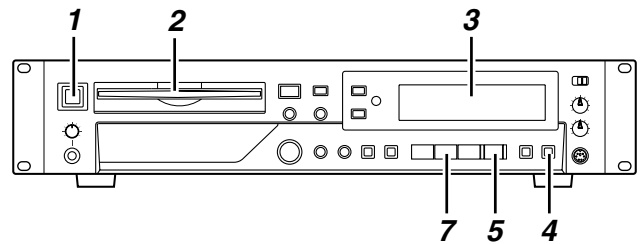
③ メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENUキー、またはMULTI JOGダイアルを押し込みます。

入力信号のモニター

入力信号をモニターする方法を説明します。

1 ディスクが挿入されていないときに、フロントパネルのRECORDキー（またはリモコンのRECORDキー）を押します。
ディスプレイに “ **Monitor** ” と表示され、入力信号のモニターが有効になります。

2 入力信号のモニターを解除するには、フロントパネル（またはリモコン）のSTOP（■）キーを押します。

録音の基本操作

ここでは、ディスクを挿入し、録音を行う手順について説明します。

1 POWERスイッチを押して電源を入れます。

2 記録可能なディスクをディスク挿入口に挿入します。

3 ディスプレイに “ **Disc Loading** ” と表示され、ディスクの読み込みを開始すると “ **TOC Reading.**”に切り替わります。
なお、空のディスクを挿入した場合、ディスプレイに “ **Blank Disc** ” と表示されます。

4 INPUT SELECTキーを押して録音ソースを選びます。
録音ソースについて詳しくは、「入力信号の選択」（ → P23）をご参照ください。

5 RECORD（●）キーを押して録音待機状態にします。
[**REC**]と [**II**]が点灯し、ディスプレイに “ **Now OPC** ” と表示されます。

メ モ

- “**OPC**” は、**Optimum Power Control**の略です。これは、ディスクに記録するレーザーパワーを最適な状態にする動作です。
- 録音ソースにデジタル信号を選んだ場合、信号が入力されていないときや不適切な信号を受信したときは、エラーメッセージ “ **D-IN UNLOCK!** ” と表示されます。

6 入力レベルを調節します。
入力レベルについては、「入力信号の調節」（ → P23）をご参照ください。
ディスプレイのメーター右端の[**OVER**]が点灯しない範囲で、なるべくレベルを高く調節してください。
[**OVER**]が点灯するとクリップによるデジタルノイズが発生します。アナログ録音と異なり、メーターの[**0**]以降にヘッドルームはないので、ご注意ください。

メ モ

CDなどを録音する場合は、原則として、メニュー項目のVOLUMEを“0.0dB”にすることをお薦めします。録音ソースとなるCDをクリップさせずに録音できます。

7 録音を始めるには、PLAY（►）キーを押します。
録音ソースとして接続した再生装置などから、信号を入力してください。
なお、録音を停止したり、一時停止したりするには、次のように操作します。

録音を一時停止するには

READY（II）キーを押します。もう一度PLAY（►）キーを押すと、再び録音が始まります。

録音を止めるには

STOP（■）キーを押します。

ディスプレイに“ **PMA Writing** ”を表示してディスクに録音内容を記録します。

注 意

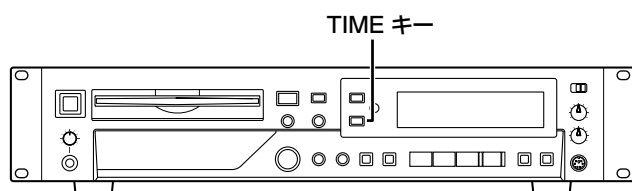
“ **PMA Writing** ”と表示されている間は、ディスクに録音内容を記録しています。このため、キー操作は受け付けません。

“ **PMA Writing** ”と表示されているときに本機を揺らしたり、電源を切ったりすることは、絶対におやめください。録音内容を正しく記録できなくなります。

メ モ

・ SYSTEMメニューのREC TIME サブメニューを表示すると本機で録音した総時間が確認できます。

時間表示の切り替え

ここでは、録音中（または録音待機中） に時間表示を切り替える方法を説明します。

録音中（または録音待機中）に、フロントパネル（またはリモコン）のTIME キーを押します。

キーを押すたびに、4 種類の時間表示が切り替わります。現在選ばれている表示方法は、以下のインジケーターの状態で確認できます。

表示なし

現在のトラックの録音済み時間を表示します。

[REMAIN]が点灯

ディスクに録音可能な残り時間を表示します。

[TOTAL]が点灯

ディスク全体の録音経過時間を表示します。

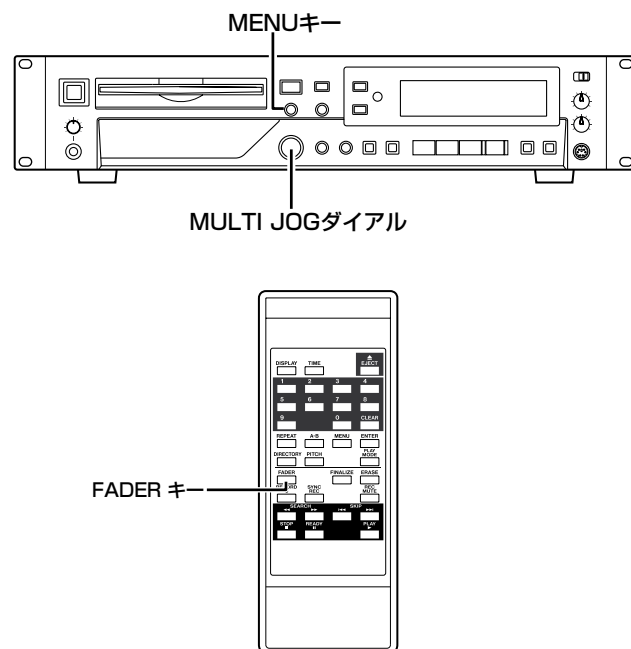
[TOTAL]と[REMAIN]が点灯

ディスクに録音可能な残り時間を表示します。

メ モ

再生中／一時停止中の時間表示については、「再生」の「時間表示の切り替え」（ → P17）をご参照ください。

フェードイン／アウト

録音中に、入力信号を無音状態から設定したレベルまでフェードインさせたり、逆に現在のレベルから無音状態までフェードアウトすることができます。フェードイン／アウトの時間は、個別に設定できます。

1 「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、サブメニュー項目“ **FADE IN?** ”を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
   ディスプレイに“ **Fade In> XXs** ”（1 ～ 30を選択可能）と表示されます。
   ここではフェードインの時間を設定できます。

2 MULTI JOGダイアルを回して、フェードインの時間を設定します。

3 メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENU キー、またはMULTI JOGダイアルを押し込みます。
   手順1でメニュー項目“ **FADE OUT?** ”を選べば、同じ要領でフェードアウトの時間を設定できます。

4 フェードインを行うときは、録音待機中にリモコンのFADERキーを押します。
   フェードインと同時に録音が始まり、ディスプレイには“ **Fade In** ”と表示されます。

5 フェードアウトを行うときは、録音中にリモコンのFADERキーを押します。
   フェードアウトが始まり、無音状態になったところで録音が停止します。フェードアウトを行っている間、ディスプレイには“ **Fade Out** ”と表示されます。

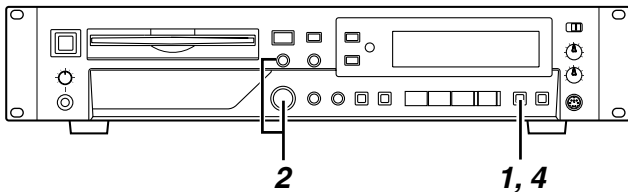
メ モ

・ フェードイン中のフェードアウト、フェードアウト中のフェードインも可能です。
・ フェードイン/アウト機能はリモコンからのみ操作できます。

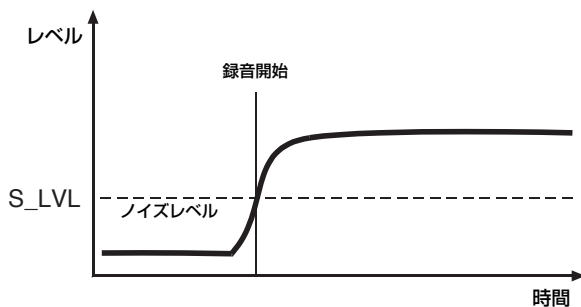
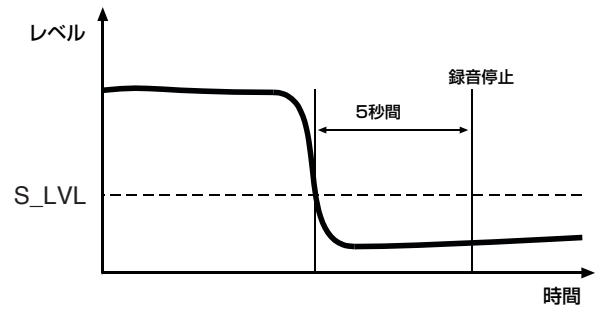
シンク録音

シンク録音とは、一定レベル（シンクレベル）以上の信号が入力されたときに自動的に録音が始まり、終わりの無音部分を検出して自動的に録音が終わる録音です。

メ モ

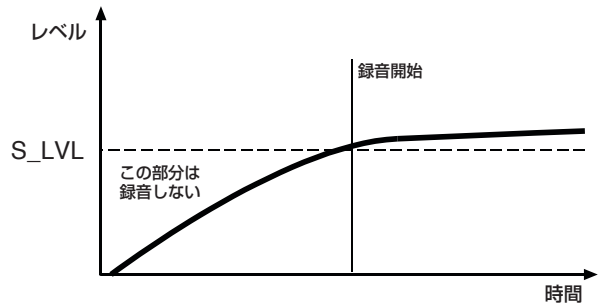
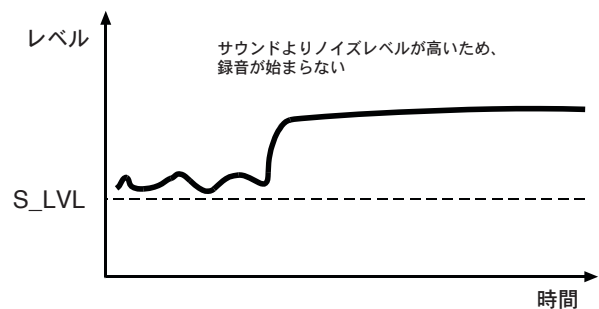
この取扱説明書では、現在設定されているシンクレベル以下の音を「無音」と呼びます。

1 録音待機状態にした後で（ → P29「録音の基本操作」）、SYNC RECキーを押し、ディスプレイに " **Sync ON** " を表示させます。
ディスプレイの[SYNC]インジケーターが点灯して、シンク録音待機状態となります。

2 必要ならば、以下の要領でシンクレベルを設定します。
① 「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、サブメニュー項目 " **SYNC LEVEL?** " を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
ディスプレイに " **S_L VL> XXXdB** " と表示されます。
② MULTI JOGダイアルを回して、シンクレベルを設定します。設定範囲は－24dB ～－72dB（6dBステップ）です。
③ MULTI JOGダイアル（またはリモコンのENTERキー）を押して、メニューモードを抜けます。

3 入力ソース機器の再生を開始します。
入力ソース機器の再生開始後、手順2．で設定したレベル以上の入力を検出すると自動的に録音を開始します。ただし、設定後、設定レベル以下の入力が1秒以上無い場合、入力を検出しても録音は開始されません。

５秒間無音が続くと、自動的に録音待機状態になります。

4 シンク録音を解除するには、SYNC RECキーを押し、" **SyncOFF** " を選択してください。

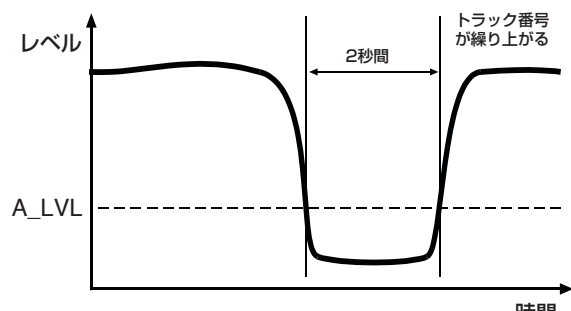
メ モ

シンク録音の設定はバックアップされています。

シンクレベルの設定が高すぎると、小さい音から始まる曲の初めの部分が欠けてしまうことがあります。

反対に、シンクレベルの設定が低すぎると、アナログソースなどのノイズレベルがシンクレベルより高くなってしまい、シンク録音が始まらないことがありますので、ご注意ください。

オートトラック録音

オートトラック録音とは、設定された条件を満たしたときに、トラック番号を自動更新する機能です。

1 以下の要領で、オートトラックのモードを選択します。
① 「メニュー操作の基本操作」（ → P12）を参考に、サブメニュー項目 " **A_TRK?** " を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
ディスプレイに " **A_TRK> XXX** " と表示されます。
② MULTI JOGダイアルを使って、次の中からモードを選択します。

・Level
オートトラック動作レベル以下の信号が２秒以上続いた後で、信号が動作レベルを超えるとトラック番号が更新されます。
オートトラック動作レベルは、サブメニュー内の " **A_TRK LEVEL?** " 項目を使って設定します。設定範囲は－24dB ～－72dB（6dBステップ）です。
設定が有効になると、ディスプレイの[**A.TRACK**]インジケータが点灯します。

・DD
デジタルソース（CD、DAT、MD）を録音するときに、ソース側のトラックの区切りを検出し、トラック番号が更新されます。
設定が有効になると、ディスプレイの[**A.TRACK**]インジケータが点灯します。
ただし、DDが選ばれているときでも、アナログソース録音時、または上記以外のデジタルソース録音時には、上記の " **Level** " 設定の場合と同じように、入力レベルに応じてトラック番号が更新されます。

トラック番号のマニュアル更新

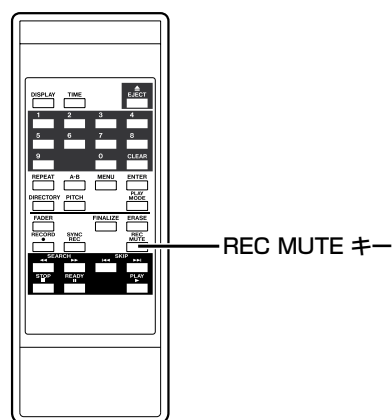
マニュアル操作でトラック番号を更新するには、次のように操作します。

トラック番号を付けたい位置でRECORD（●）キーを押します。
トラック番号が更新されます。

注 意

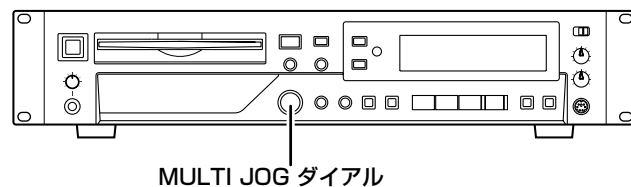
トラック更新から４秒未満、または99トラック録音中は、本キー操作は受け付けません。

レックミュート

無音録音部分を簡単につくることができます。

これを行うには、録音中にリモコンのREC MUTEキーを押します。
ディスプレイに " **Rec Mute** " が表示され、無音録音が始まります。約4 秒後に録音待機状態になります。

メ モ

レックミュート機能はリモコンからのみ操作できます。

録音トラック数の指定

録音中にMULTI JOGダイアルを回すと、録音するトラック数を指定できます。
ディスプレイに録音するトラックの数が表示され、指定されたトラック数の録音が終了すると停止状態になります。

メ モ

指定できるトラック数は最大99です。

注 意

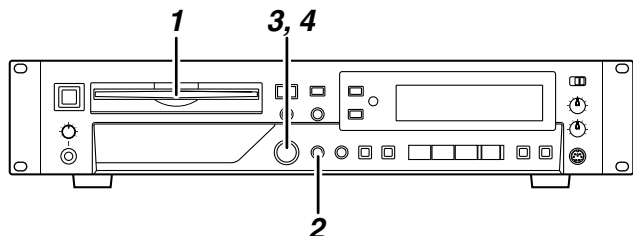
- ファイナライズ、アンファイナライズ、リフレッシュ、ディスク／トラック消去中は誤って電源を切ってしまわないように、注意してください。ディスク情報が不正になるばかりではなく、ディスク自体が使用できなくなる恐れがあります。
- リフレッシュ、ディスク/ トラックの消去により、消去したディスク/ トラックの内容は永久に失われます。誤って大事なディスク/ トラックを消去してしまわないように、慎重に行ってください。

ここでは、録音済みCD-R/CD-RWディスクを一般のCDプレーヤーで再生できるようにするファイナライズや、CD-RWディスクの全トラックまたは一部のトラックを消去する方法など、CD-R/CD-RWディスクの各種操作について説明します。

ファイナライズ

ファイナライズとは、TOC（曲数や各曲の演奏開始時間など、録音したデータの情報）をCD-R/CD-RWメディアに記録する操作のことです。

本機で録音したディスクは、最終的なTOCをディスクに記録するまで、一般のCDプレーヤーでは再生できません（ファイナライズ処理を行う前でも、本機で再生することは可能です）。

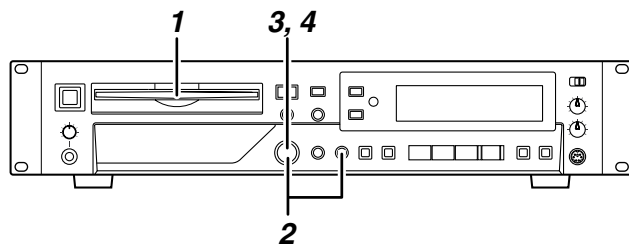
通常、ファイナライズ処理したCD-R/CD-RWメディアは、新たに追加録音できなくなります。ただし、CD-RWの場合は、アンファイナライズと呼ばれる処理を行えば、再び録音できるようになります。

1 録音済みのCD-R/CD-RWメディアを挿入します。

2 停止状態で、フロントパネルのFINALIZE/INSキー、またはリモコンのFINALIZEキーを押します。
ディスプレイに“ **FINALIZE?** ”と表示されます。
操作を取り消すには、FINALIZE/INSキー（リモコンの場合はFINALIZEキー）をもう一度押します。

3 MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
ディスプレイに“ **Sure?** ”と表示されます。
操作を取り消すには、STOP（■）キーを押します。

4 操作を実行するには、もう一度MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
ファイナライズが始まり、ディスプレイに“ **TOC X:XX** ”と予想終了残り時間が表示されます。
ファイナライズが終了すると、“**Complete**”と表示されます。
なお、ファイナライズ処理中は、操作キーを一切受け付けません。

アンファイナライズ

アンファイナライズとは、ファイナライズ済みのCD-RWメディアに追加録音できるようにする操作です。

1 ファイナライズ済みのCD-RWメディアを挿入します。

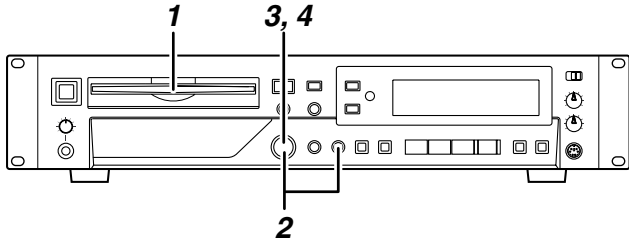
2 停止状態でフロントパネルのERASE/DELキー（またはリモコンのERASEキー）を押し、MULTI JOGダイアル（リモコンの場合はSKIPキー）で“ **UNFINALIZE?** ”を選択します。

操作を取り消すには、ERASE/DELキー（リモコンの場合はSKIPキー）をもう一度押します。

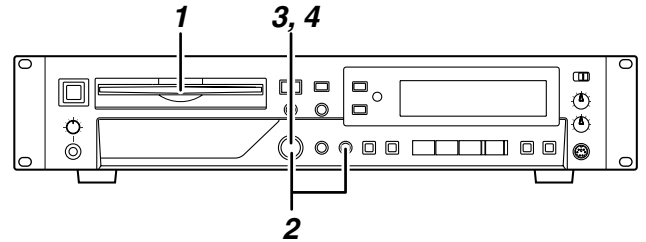
3 MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
ディスプレイに“ **Sure?** ”と表示されます。
操作を取り消すには、STOP（■）キーを押します。

4 操作を実行するには、もう一度MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
アンファイナライズが始まり、ディスプレイに“ **Erase X:XX** ”と予想終了残り時間が表示されます。
アンファイナライズが終了すると、“ **Complete** ”と表示されます。

リフレッシュ

停電などが原因でファイナライズの途中で強制終了したディスクや、コンピューターで使用したディスクは、本機で認識できないことがあります。このような場合は、以下の操作でディスクをリフレッシュすると、認識できるようになることがあります。

1 CD-RWメディアを挿入します。
2 停止状態でフロントパネルのERASE/DELキー（またはリモコンのERASEキー）を押し、MULTI JOGダイアル（リモコンの場合はSKIPキー）で "**REFRESH?**" を選択します。
操作を取り消すには、ERASE/DELキー（リモコンの場合はERASEキー）をもう一度押します。
3 MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
ディスプレイに "**Sure?**" と表示されます。
操作を取り消すには、STOP（■）キーを押します。
4 操作を実行するには、もう一度MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
リフレッシュが始まり、ディスプレイに "**Erase X:XX**" と予想終了残り時間が表示されます。
リフレッシュが終了すると、"**Complete**" と表示されます。

ディスクの消去

CD-RWに録音されたすべてのトラックを消去し、白紙の状態から録音できるようにします。

1 録音済みのCD-RWメディアを挿入します。
2 停止状態でフロントパネルのERASE/DELキー（またはリモコンのERASEキー）を押し、MULTI JOGダイアル（リモコンの場合はSKIPキー）で "**ERASE DISC?**" を選択します。
操作を取り消すには、ERASE/DELキー（リモコンの場合はERASEキー）をもう一度押します。
3 MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
ディスプレイに "**Sure?**" と表示されます。
操作を取り消すには、STOP（■）キーを押します。
4 操作を実行するには、もう一度MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
ディスクの消去が始まり、ディスプレイに "**Erase X:XX**" と予想終了残り時間が表示されます。
ディスクの消去が終了すると、"**Complete**" と表示されます。

トラックの消去

録音されたCD-RWメディアから、指定したトラックから最後のトラックまでを消去します。

1 録音済みのCD-RWメディアを挿入します。

2 停止状態でフロントパネルのERASE/DELキー（またはリモコンのERASEキー）を押し、MULTI JOGダイアル（リモコンの場合はSKIPキー）を回し"**ERASE TRACK?**"を選択します。
操作を取り消すには、ERASE/DELキー（リモコンの場合はERASEキー）をもう一度押します。

3 MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
ディスプレイに"**Erase XX-XX**"（消去開始トラック－最終トラック）が表示されます。
操作を取り消すには、ERASE/DELキー（リモコンの場合はERASEキー）を押します。

4 MULTI JOGダイアル（リモコンの場合はSKIPキー）で消去開始トラックを選択します。
操作を取り消すには、ERASE/DELキー（リモコンの場合はERASEキー）を押します。

5 MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
ディスプレイに"**Sure?**"と表示されます。
操作を取り消すには、STOP（■）キーを押します。

6 操作を実行するには、もう一度MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
トラックの消去が始まり、ディスプレイに"**Erase X:XX**"と予想終了残り時間が表示されます。
トラックの消去が終了すると、"**Complete**"と表示されます。

メ モ

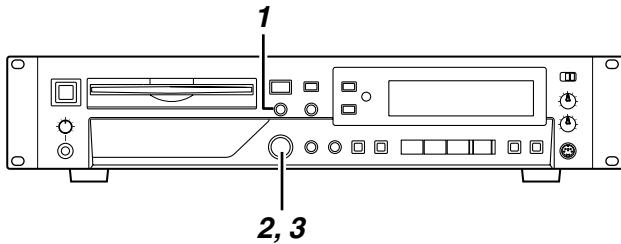
トラックの消去は再生モード"**Continue**"でしか実行できません。

サブメニュー項目の“ **TEXT EDIT?** ”を使って、ディスクとトラックに名前を付けることができます。

注 意

名前を設定した後、ファイナライズを行わずに電源を切ると、TOCが記録されず、付けた名前が無効になります。TOCを記録するには、ファイナライズを実行してください。

ディスクに名前を付ける

CD-R/CD-RWディスクに固有の名前を付けます。

1 停止状態で、「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、サブメニュー“ **TEXT EDIT?** ”を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
ディスプレイに“ **Text> XXX** ”（Disc、または01 ～ 99のトラック番号が選べます）と表示されます。

2 MULTI JOGダイアルを押し込み、MULTI JOGダイアルを回して（リモコンの場合はSKIPキーを押して）、“ **Text> Disc** ”を選択します。

3 MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
キャラクター表示部に現在のディスク名が表示され、名前編集モードになります（カーソルが点滅します）。

4 以下の要領に従って名前を付け、本体のMENUキー（またはリモコンのMENUキー）を押して確定します。

名前編集モードでは、以下の要領で名前を付けます。

入力する文字種を選択するには

本体またはリモコンのDISPLAYキーを押すと、以下の2通りの文字種が切り替わります。
・英小文字／記号（表示窓に無表示）
・英大文字／記号（表示窓に“ **CAPS** ”が点灯）

文字を入力するには

MULTI JOGダイヤル（リモコンの場合はSKIPキー）で文字を選択し、MULTI JOGダイアルを（リモコンの場合はENTERキー）を押して確定します。

カーソルを移動するには

◀◀/◀キー、▶▶/▶キーを使用します。
◀◀/◀キーを押すとカーソル位置が左に移動し、▶▶/▶キーを押すと右に移動します。
リモコンのSEARCHキーでもカーソルの移動が行えます。

文字を削除するには

削除したい文字にカーソルを合わせてERASE/DELキー（リモコンの場合はERASEキー）を押します。

文字を挿入するには

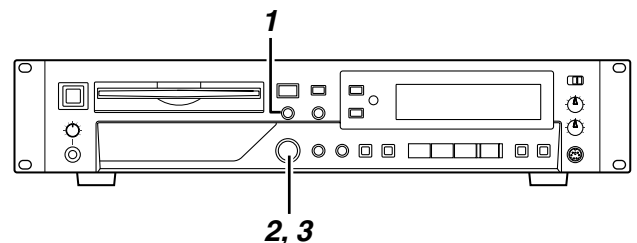
挿入したい位置にカーソルを置き、FINALIZE/INSキー（リモコンの場合はFINALIZEキー）を押します。

文字を修正するには

修正したい文字にカーソルを合わせて、希望の文字を入力します。

テキストを編集後、TOCを記録しないままディスクを取り出そうとすると、“ **Sure? Text!** ”と表示されます。TOCを記録しないままディスクを取り出す場合は、“ **Sure? Text!** ”表示中に、再度EJECT（⏏）キーを押してください。（入力したテキストは失われます。）

トラックに名前を付ける

CD-R/CD-RWディスクに録音されたトラックに固有の名前を付けます。

1 停止状態で、「メニュー操作の基本」（ → P12）を参考に、サブメニュー“ **TEXT EDIT?** ”を表示させ、MULTI JOGダイアルを押し込みます。
ディスプレイに“ **Text> XXX** ”（Disc、または01 ～ 99のトラック番号が選べます）と表示されます。

2 MULTI JOGダイアルを押し込み（リモコンの場合はENTERキーを押し）、MULTI JOGダイアルを回して（リモコンの場合はSKIPキーを押して）、01 ～ 99のトラック番号を選びます。

3 MULTI JOGダイアルを押し込みます（リモコンの場合はENTERキーを押します）。
キャラクター表示部に現在のトラック名が表示され、名前編集モードになります（カーソルが点滅します）。

メ モ

現在名前がない場合は、何も表示されません（カーソル点滅のみ）。

4 ディスク名と同様の操作で名前を付け、本体のMENUキー（またはリモコンのMENUキー）を押して確定します。

テキストを編集後、TOCを記録しないままディスクを取り出そうとすると、“ **Sure? Text!** ”と表示されます。TOCを記録しないままディスクを取り出す場合は、“ **Sure? Text!** ”表示中に、再度EJECT（⏏）キーを押してください。（入力したテキストは失われます。）

第8章　コンピュータキーボードを使った操作

IBM PC互換機用、PS/2インタフェースのキーボードを本機フロントパネルに接続することにより、キーボードを使って本機を操作することができます。各種コントロールが可能ですが、特に名前の入力を効率的に行なうことができます。

キーボードタイプの設定

接続するキーボードに合わせて、キーボードタイプを選択します。

メニュー項目SYSTEM内のサブメニュー " **KEYBOARD?** " を使って、タイプを選択します。

日本語対応キーボードの場合、" **JP** " を選択します。
英語対応キーボードの場合、" **US** " を選択します。

キーボードを使って名前を入力する

パソコンの文字入力と同じ感覚で、ディスク名、トラック名を入力することができます。

タイトル編集メニューに入るには

SHIFT + F8キーで、ディスク／トラックタイトル編集メニューに入ります（" **Text> ##** " を表示）。

入力する文字種を選択するには

CAPS キー：　「英大文字」を選択／解除します。
解除のとき：　「英小文字」になります。

入力するには

数字キー、文字キーで直接入力

カーソルを移動するには

←／→キーを使います。

文字を削除するには

Deleteキー：　カーソル位置の文字を削除します。
Back Spaceキー：　カーソル手前の文字を削除します。

文字を挿入するには

希望の位置でInsertキーを押します。

文字を修正するには

カーソルを合わせて上書きします。

キーボード操作一覧

名前の入力だけでなく、トランスポートコントロール、編集など、各種動作をキーボードからコントロールすることができます。以下に、キーボードのキーの機能をまとめておきます。

キーボードのキー	動作
F1キー	⏮ キーと同じ
F2キー	⏭ キーと同じ
F3キー	キーコントロールのON/OFFを行います
F4キー	STOPキーと同じ
F5キー	PLAYキーと同じ
F6キー	READYキーと同じ
F7キー	オートキューのＯＮ／ＯＦＦを行います
F8キー	RECORDキーと同じ
F9キー	オートレディーのＯＮ／ＯＦＦを行います
F10キー	REPEATキーと同じ
F11キー	P.MODEキーと同じ
F1キー	PITCHキーと同じ
SHIFT + F1キー	" **ERASE TRK** " へ
SHIFT + F2キー	" **ERASE DISC** " へ
SHIFT + F3キー	" **REFRESH** " へ
SHIFT + F4キー	
SHIFT + F5キー	
SHIFT + F6キー	
SHIFT + F7キー	
SHIFT + F8キー	" **TEXT EDIT** " へ
SHIFT + F9キー	
SHIFT + F10キー	
SHIFT + F11キー	" **UNFINALIZE** " へ
SHIFT + F12キー	" **FINALIZE** " へ

キーボードのキー	動作
CTRL + F1キー	ダイレクトトラックサーチトラック1
CTRL + F2キー	ダイレクトトラックサーチトラック2
CTRL + F3キー	ダイレクトトラックサーチトラック3
CTRL + F4キー	ダイレクトトラックサーチトラック4
CTRL + F5キー	ダイレクトトラックサーチトラック5
CTRL + F6キー	ダイレクトトラックサーチトラック6
CTRL + F7キー	ダイレクトトラックサーチトラック7
CTRL + F8キー	ダイレクトトラックサーチトラック8
CTRL + F9キー	ダイレクトトラックサーチトラック9
CTRL + F10キー	ダイレクトトラックサーチトラック10
CTRL + F11キー	ダイレクトトラックサーチトラック11
CTRL + F12キー	ダイレクトトラックサーチトラック12
CAPSキー	「英大文字」を選択／解除
数字キー／文字キー	数字文字の入力
←／→キー	カーソルを移動
Deleteキー	ERASE/DEL キーと同じ
Back Spaceキー	カーソル手前の文字を削除
Insertキー	FINALIZE/INSキーと同じ
ESCキー	編集／タイトル編集をキャンセルしてメニューモードを終了
Enterキー	ENTERキーと同じ

エラーメッセージ

以下のエラーメッセージが表示されたときは、STOPキーを押してから原因を解消してください。それでも改善しない場合は、最寄りの当社サービス部にご相談ください。

- **Can't Rec!**
  録音できません。ディスクの内容を消去するか（CD-RWの場合）、録音可能なディスクに交換してください。
- **Disc Error!**
  ディスクに何らかの問題があります。ディスクを交換してください。
- **Disc Full!**
  録音用ディスクに録音可能な時間、またはトラックがないため、録音できません。
- **Text Full!**
  文字数が上限に達しました。
- **Sure? Text!**
  TEXT 編集後、ファイナライズせずにディスクを排出しようとしています。問題なければ再度EJECTキーを押してください。
- **Drive Error!**
  CD-RWドライブに問題があります。
- **D-IN UNLOCK!**
  DIGITAL IN端子にデジタル機器が接続されていません（または接続されたデジタル機器の電源がオフになっています）。
  デジタル機器の接続と電源をお確かめください。
- **Not Audio!**
  DIGITAL IN端子からの入力信号がオーディオ信号ではありません。
- **Erase Error!**
  消去中にエラーが発生しました。
- **Not Fs44.1k!**
  デジタル入力のサンプリング周波数が44.1kHzではありません。SRC をオンにしてください。
- **PGM Empty!**
  プログラムされていません。
- **PGM Full!**
  既に99曲プログラムされています。
- **Can't Edit!**
  操作の制限により、編集が実行できません。
- **Can't Sel!**
  選択禁止状態のため、メニューなどの選択ができません。
- **Rec Error!**
  録音中にエラーが発生しました。録音をやり直してください。
- **OPC Error!**
  OPCに失敗しました。録音をやり直して下さい。
- **NO DIR!**
  ファイルが存在するディレクトリがありません。
- **Decode Err!**
  MP3 ファイルの再生に失敗しました。
- **Format Err!**
  本機では読み取り不可能な形式です。
- **IR Disable!**
  リモコン操作が許可されていません。

動作時のメッセージ

- **Blank Disc**
  何も録音されていないディスクがセットされています。
- **Complete**
  ファイナライズまたは消去などが完了しました。
- **Now OPC**
  最適な状態で録音するため、使用ディスクの特性に合わせてキャリブレーションを行っています。
- **Disc Repair**
  記録中に電源がオフになった等、何らかの理由によりPMAが記録できなかったCD-Rメディアに対し、修復処理をしています。この処理は、記録された内容を全て確認するため非常に時間がかかりますので、途中で電源をオフにしないでください。
- **PMA Writing (PMA = Program Memory Area)**
  録音した内容をディスクに記録しています。
- **TOC Reading**
  TOC情報を読み取り中です。

第10章 トラブルシューティング

● **電源が入らない**
電源プラグがしっかりと差し込まれていますか？

● **" Disc Error! " や " OPC Error! " が表示される**
ディスクが汚れていませんか？。ディスクを掃除するか交換してください。

● **再生できない**

結露していませんか？ 結露している場合はディスクを取り出して、電源をオフにしたまま数時間放置してください。

● **音が出ない**
モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、アンプの音量を確認してください。

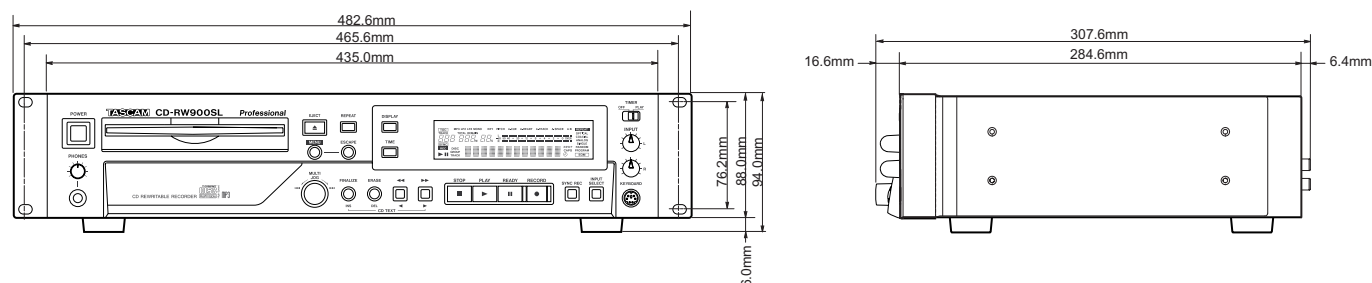
● **録音できない**
·接続をもう一度確認してください。
·録音レベルを調節してください。
·再生専用のCDには録音できません。録音用CDと交換してください。

● **設定を変えたのに記憶されていない**
本機では、モード設定を変更するたびにバックアップしています。電源を切るタイミングによってはバックアップに失敗してしまう場合がありますので、変更した直後に電源を切ることはおやめください。

● **雑音がする**
テレビなど強い磁気を帯びたものから十分離して設置してください。

● ディスクが入らない
一度ディスクを抜きEJECTキーを押してから、再度ディスクを入れてください。

記録ディスク	CD-R、CD-R-DA、CD-RW、CD-RW-DA（CD-RWはHigh Speedに対応）	
量子化ビット数	16bit リニア	
サンプリング周波数	44.1kHz	
再生周波数特性	20Hz ~ 20KHz	
	± 0.8dB（再生時）	
	± 1.0dB（記録時）	
S/N	95dB 以上（再生時）	
	90dB 以上（記録時）	
ダイナミックレンジ	95dB 以上（再生時）	
	90dB 以上（記録時）	
歪率	0.006% 以下（再生時）	
	0.008% 以下（記録時）	
チャンネルセパレーション	90dB 以上（再生時：1kHz）	
	80dB 以上（記録時：1kHz）	
ワウフラッター	測定限界以下（0.001% 以下）	
アナログ入力	アンバランス入力	RCA ピン
	規定入力レベル	− 10dBV（Full Scale − 16dB）
	最小入力レベル	− 19dBV 以上（規定レベル（Full Scale − 16dB）に調整可能な最小入力レベル）
	入力インピーダンス	22KΩ ± 10%（不平衡）
アナログ出力	アンバランス出力	RCA ピン
	規定出力レベル	− 10dBV ± 2dB（Full Scale − 16dB）
	最大出力レベル	＋ 6dBV ± 2dB
	出力インピーダンス	600Ω ± 10%（不平衡）
ヘッドホン出力	ステレオ標準（6.3 φ）	
	20mW 以上	
	32Ω 負荷	
デジタル入力	COAXIAL	RCA ピン（IEC-60958 コンシューマユース）
	OPTICAL	TOSLINK（IEC-60958 コンシューマユース）
デジタル出力	COAXIAL	RCA ピン（IEC-60958 コンシューマユース）
	OPTICAL	TOSLINK（IEC-60958 コンシューマユース）
KEYBOARD	Mini DIN 6pin	
電源	100VAC、50/60Hz	
消費電力	12W	
外形寸法	482.6 × 94 × 307.6mm（幅×高さ×奥行き）	
重量	4.5kg	

寸法図

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00/13:00～17:00です。

タスカム営業技術　〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3

電話：0422-52-5106 / FAX：0422-52-6784

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～17:00です。

ティアック修理センター　〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-7

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒180-8550 東京都武蔵野市中町3-7-3
http://www.tascam.jp/

Printed in China